

自治会に関するアンケート調査 報告書

平成 30 年 4 月

立川市産業文化スポーツ部協働推進課

目次

1. 立川市の自治会加入状況・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 立川市自治会等を応援する条例（仮称）制定に向けた
市民アンケート調査報告書・・・・・・・・・・・・ 3
3. 立川市自治会長アンケート調査報告書・・・・・・・・ 13
4. 市民満足度調査の自由記載欄から
自治会に関する事項を抜粋・・・・・・・・・・・・ 38

立川市の自治会加入状況

- ・市内には182の自治会があり、そのうち132自治会が自治会連合会（以下、自治連という）加盟。自治連は、市内12の支部で構成されている（平成29年4月1日現在）。
- ・自治会の加入率は、平成20年度に50%となり、以後、平均して年に約1%ずつ低下。
- ・自治会加入世帯数は平成26年度までほぼ横ばいであったが、平成27年度以降から大きく減少。総世帯数は、年々増加傾向にある。

1. 【立川市内自治会の加入状況】（平成29年4月1日現在）

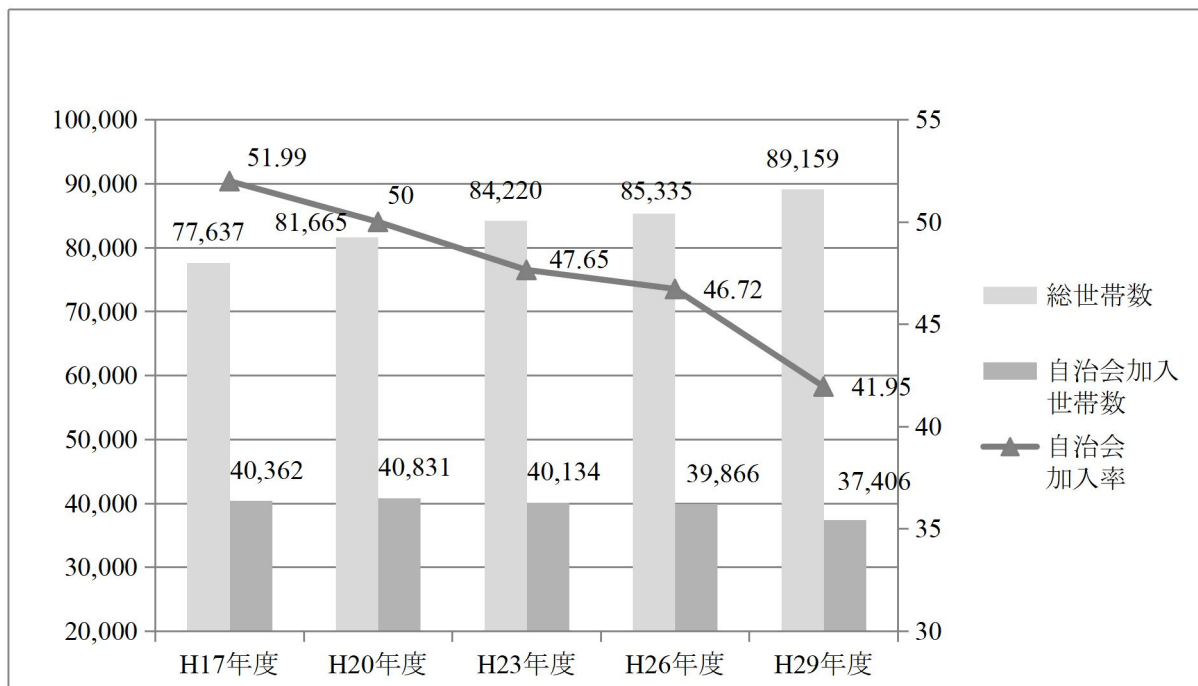
	単位自治会数	加入率	加入世帯数	総世帯数
全市	182 自治会	41.95%	37,406 世帯	89,159 世帯
内 自治連加盟	132 自治会	38.98%	34,757 世帯	

2. 【地域別の自治会加入率】（平成29年4月1日現在）（単位%）

富士見町	柴崎町	錦町	羽衣町	曙町	高松町	栄町	若葉町	その他
49.47	50.72	36.43	47.22	48.66	39.92	49.84	63.55	33.62

※その他地域は、自治会の区域が町の区域をまたがるため、算出不可

3. 【自治会加入率と加入世帯の推移】（いずれも4月1日現在）



【類似市の自治会加入率】

		八王子市	三鷹市	府中市	調布市	町田市	小平市	日野市	西東京市	東村山市	立川市
平成 29 年度	自治会の数	578	96	400	375	309	370	243	223	304	182
	総世帯数	264,618	92,869	122,768	115,989	193,144	88,587	83,585	95,145	69,728	89,159
	加入世帯数	154,059	32,588	71,191	50,653	103,477	33,894	39,307	18,885	36,096	37,406
	自治会加入率	58.22%	35.09%	57.99%	43.67%	53.58%	38.26%	47.03%	19.85%	51.77%	41.95%
	連合会加盟自治会数	356		206	166	226		不詳		25	132
	連合会加入世帯数	120,611		52,144	29,956	89,931		不詳		6,081	34,757
	連合会加入率	45.58%		42.47%	25.83	46.56%		不詳		8.72%	38.98%
平成 28 年度	自治会の数	575	99	399	379	309	370	242	225	303	182
	総世帯数	261,685	90,865	122,044	113,729	190,737	87,651	82,640	94,017	71,030	87,635
	加入世帯数	154,323	33,736	71,256	50,803	103,587	33,794	39,755	18,277	36,381	38,409
	自治会加入率	58.97%	37.13%	58.39%	44.67%	54.31%	38.56%	48.10%	19.44%	51.22%	43.83%
	連合会加盟自治会数	332		208	169	226		不詳		25	132
	連合会加入世帯数	120,084		52,147	30,928	89,959		不詳		6,321	35,329
	連合会加入率	45.89%		42.73%	27.19	47.16%		不詳		8.90%	40.31%
平成 27 年度	自治会の数	572	98	400	382	308	371	242	225	305	181
	総世帯数	258,912	90,894	120,279	111,877	188,955	86,454	82,640	92,877	69,049	86,347
	加入世帯数	155,709	33,725	72,135	50,954	104,067	33,633	39,755	17,538	36,511	38,827
	自治会加入率	60.14%	37.10%	59.97%	45.54%	55.08%	38.90%	48.10%	18.88%	52.87%	44.97%
	連合会加盟自治会数	325		205		224		不詳		25	133
	連合会加入世帯数	120,663		51,769		90,039		不詳		9,648	35,702
	連合会加入率	46.60%		43.04%		47.65%		不詳		13.97%	41.35%

＊自治会加入率の算出方法は、加入世帯数／総世帯数

＊連合会加入率の算出方法は、連合会加入世帯数／総世帯数

＊表中斜線部分は連合組織を有しない団体

＊日野市の世帯数には、外国人登録者数は含んでいない。

立川市自治会等を応援する条例（仮称）
制定に向けた市民アンケート調査
報告書

平成30年4月

1. 調査の概要

調査区域：立川市全域

調査対象：タウンミーティング参加者、子育て広場利用者、
支えあいサロン利用者等

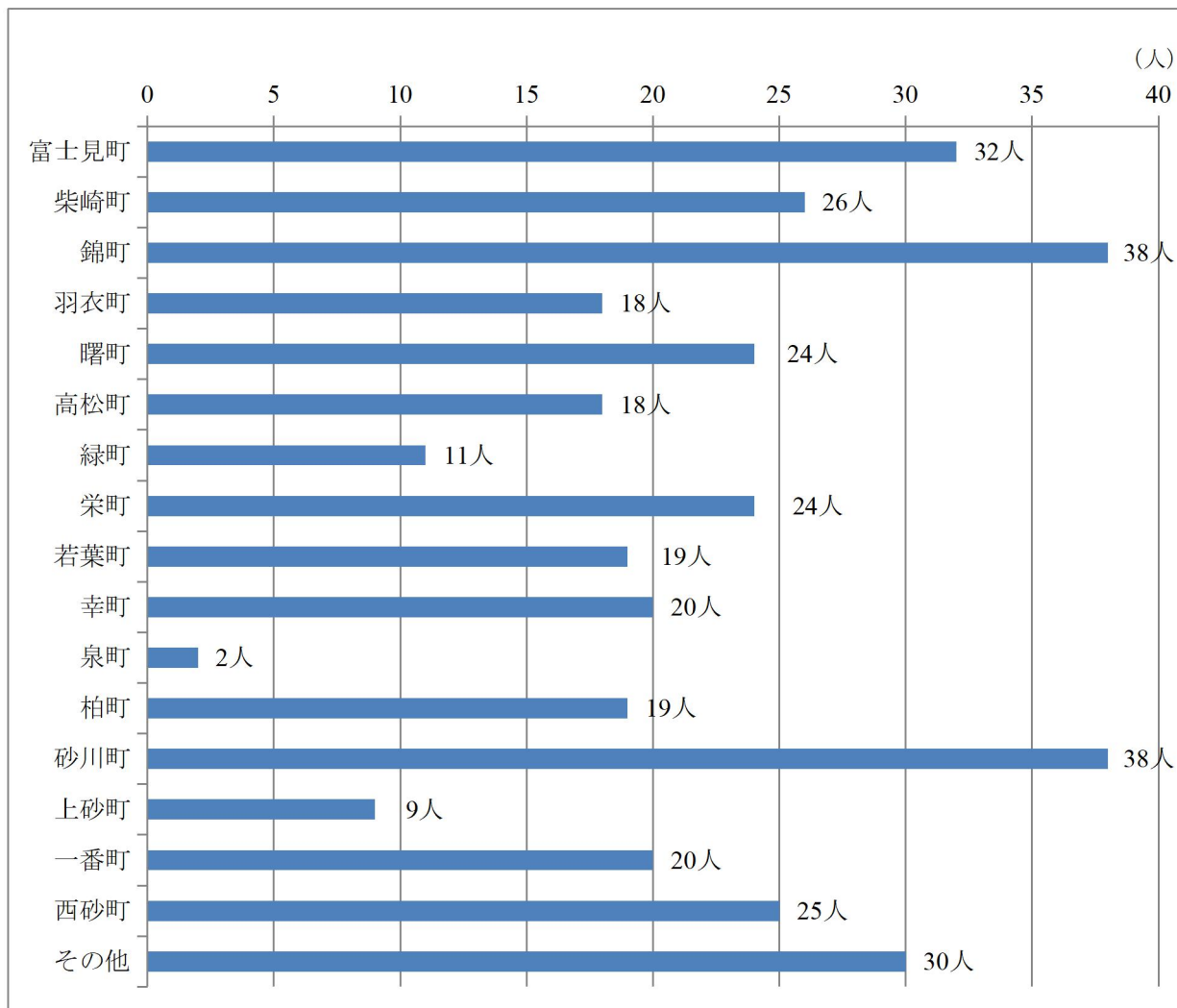
調査時期：平成29年11月～平成30年1月

回答数：375件

2. 調査結果

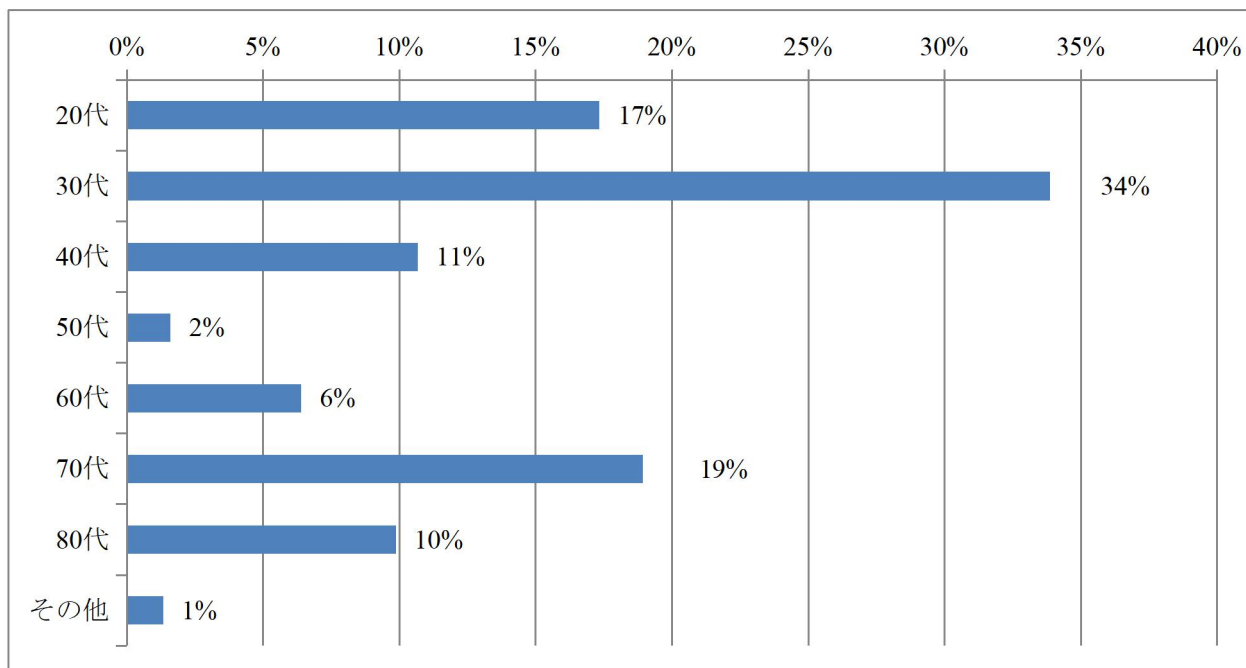
問1：居住地域

回答者の居住地域については、多少の差異があるものの概ね市内全域に分布している。



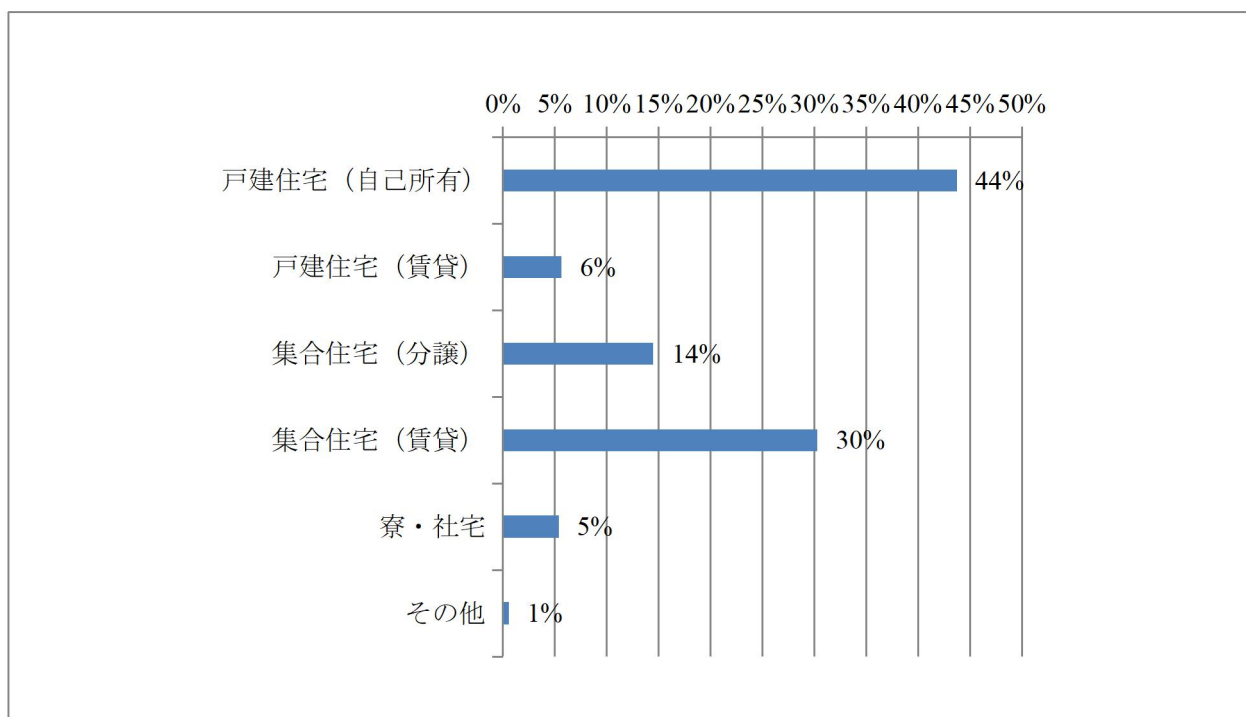
問 2：年齢構成

回答者の年齢構成は大きく分けて、20代～40代のブロックと、60代～80代のブロックに分かれている。50代からの意見が少なくなっている。



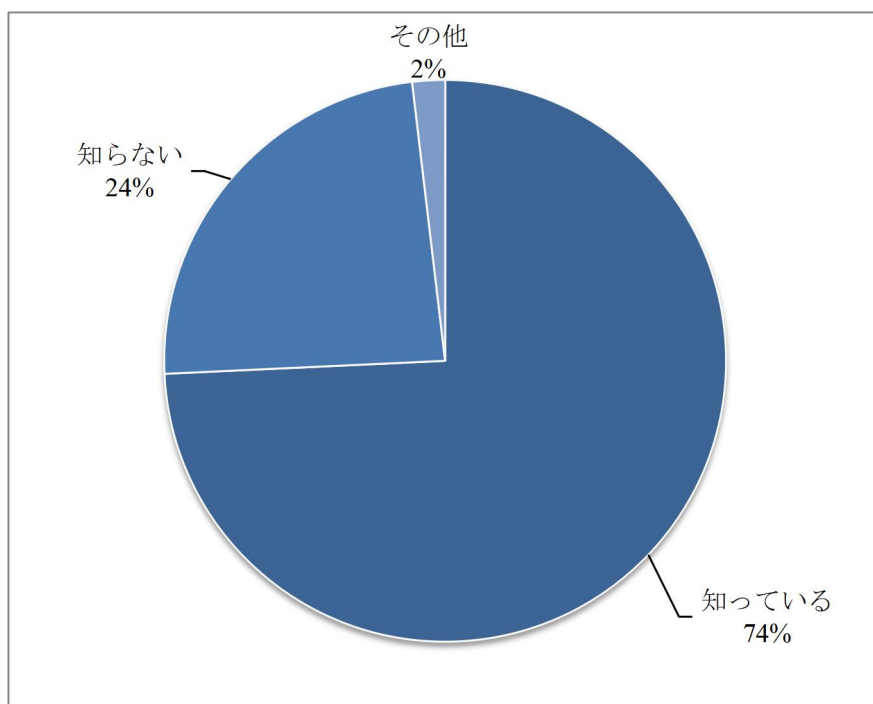
問 3：居住形態

戸建て・集合住宅を所有する人が約6割、賃貸や寮・社宅などの居住が約4割となっている。



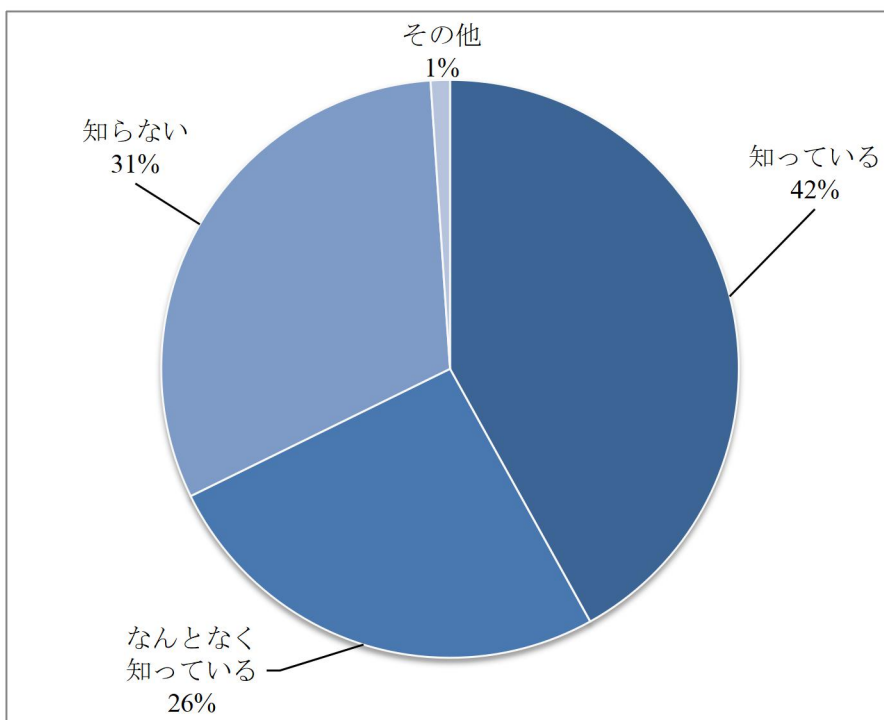
問4：自分の地域の自治会への認知度

回答者の74%が自分の地域の自治会を知っている。



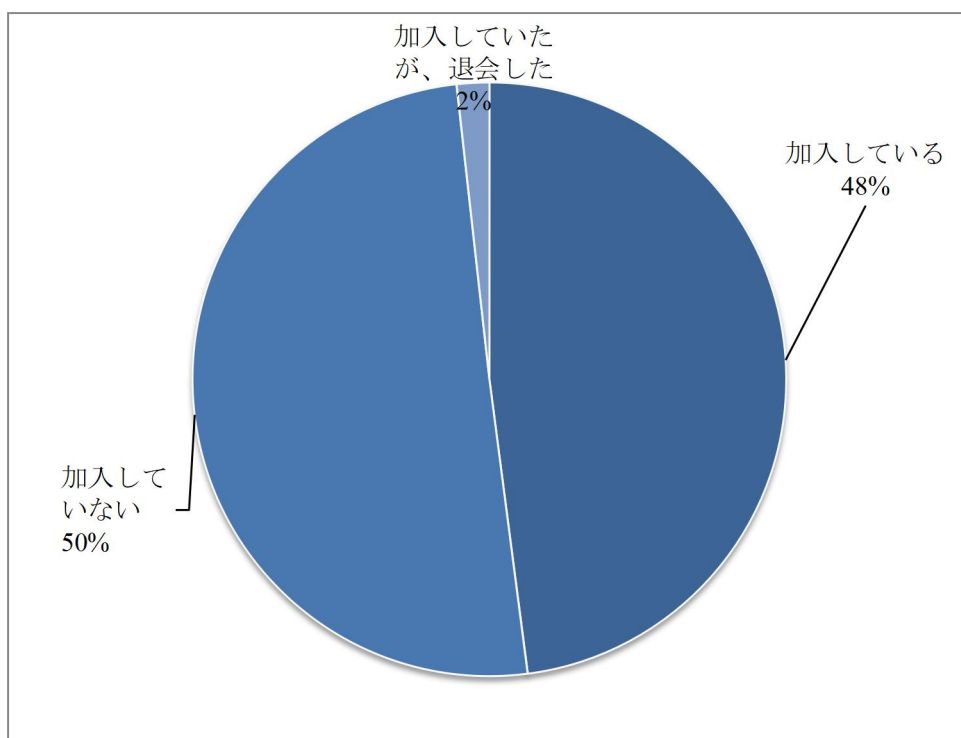
問5：自治会が行う活動への認知度

「知っている」「なんとなく知っている」と回答した人が多いが、自治会自体の認知に比べると、自治会が行う活動への認知は低くなっている。



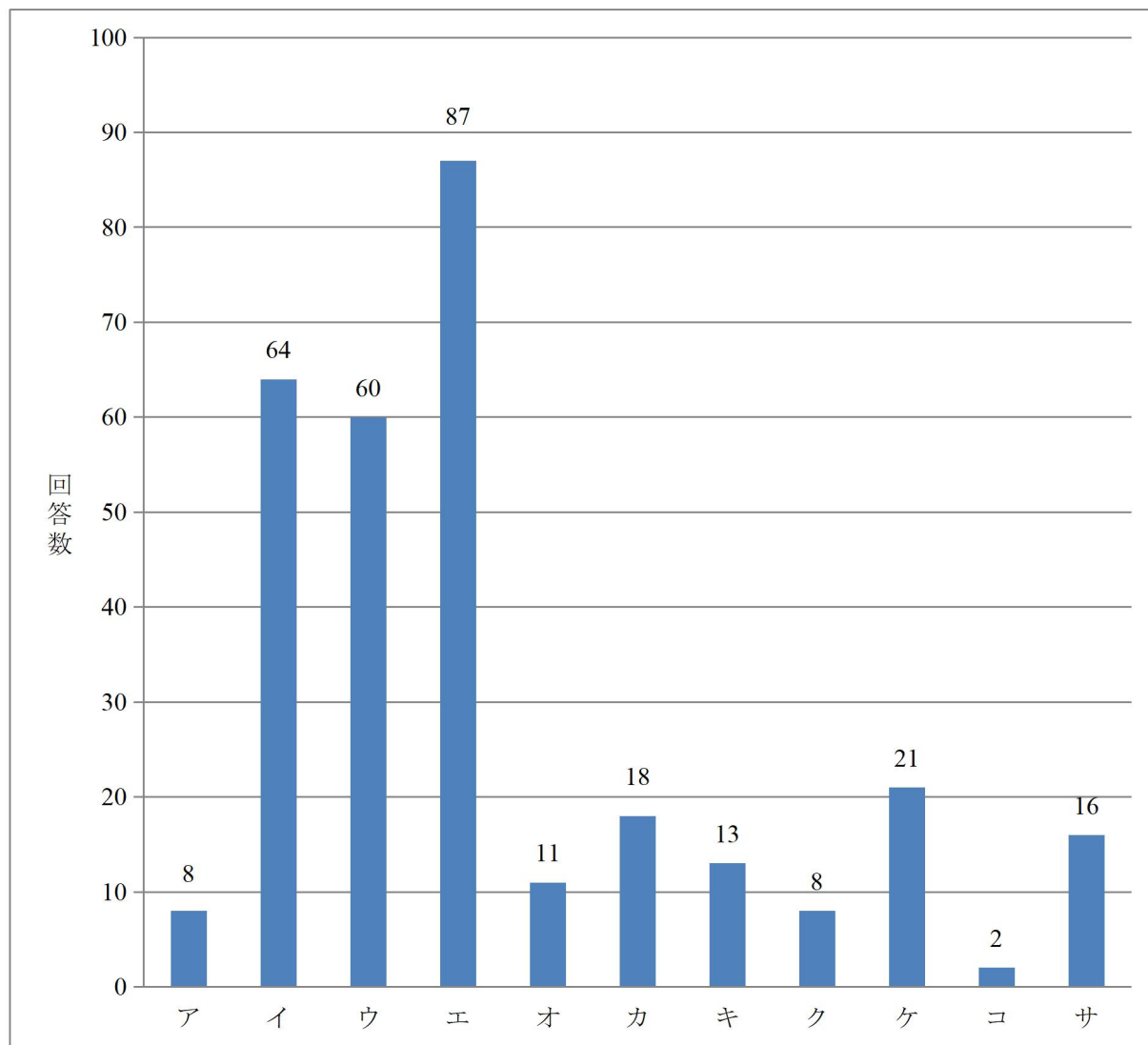
問 6：自治会の加入有無

「加入している」は48%で、市内の自治会加入率と概ね差がない。



問7：自治会に加入していない、または退会した理由（3つまで）

自治会に加入していない理由としては、「加入しなくても困らない」が最も多く、次いで「加入の仕方がわからない」「自治会が何を行っている組織かわからない」が多かった。



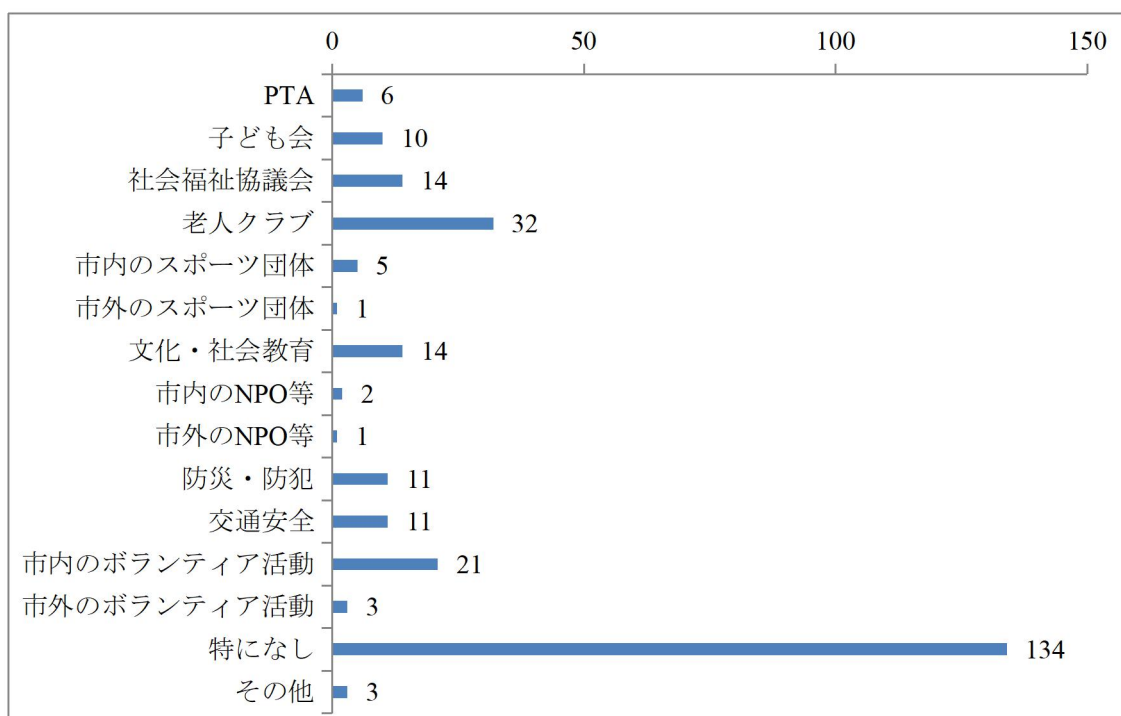
選択肢：ア．近所付き合いがわずらわしい イ．加入の仕方がわからない
 ウ．自治会が何を行っている組織かわからない
 エ．加入しなくても困らない（加入するメリットがわからない）
 オ．町会・自治会の活動に関心がない カ．役員（班長等）になりたくない
 キ．会費を払いたくない ク．高齢により活動に参加できない
 ケ．短期の居住である コ．行事（イベント）に参加したくない
 サ．その他

○その他欄で出た意見

マンションの理事会に入っているから、それでいいような気がしている。
住まいが自己所有の時は加入していたが、賃貸に住み替えたため退会した。
生活リズムや形態が異なるので、混ざりにくい気持ちがあります。
子どもが小学生になったら考えるつもり。
まだ引っ越して間もない。
自治会に入りたいと思い市役所に問い合わせましたが、後日住んでいる地域の自治会長さんから連絡をしていただけるはずが、1週間以上何も連絡が来ません。
マンション単位で加入していない。
寮の組織が自治会の代わりと思われる。
分からない。
自治会があるのか分からない。
たぶん自治会がない。
転勤のある仕事のため。
もうすぐ市外へ引っ越す。
自治会の話すらされたことがない。
UR集合住宅で何もない。
健康上の理由。

問8：【自治会未加入者への設問】自治会以外で参加している地域活動（該当する全てに○）

自治会未加入の人は、他の地域活動への参加も少ないことがわかった。



問9：自治会について、このような自治会なら加入したいなど、要望や意見（自由記載）

自治会の 行事・活動 に関する 要望等	活動がワンパターン化しない様、常に斬新性を保つ事に留意願いたい。
	高齢者が多いイメージ。入っても何をしたいか分からない。子育てへの助けになるというより、高齢者を助ける。またイベントも高齢者向けになっている。
	子ども同伴で行けるスポーツや映画など文化活動。
	スポーツ行事が多すぎる。
	子どものイベント（お祭り、おみこしなど）があるならば加入したい。
	子ども関係、お祭りなどの活動なら参加したいが、転勤族のため長期的には関われない。
	つながりの強い自治会。イベントや回覧が多いと嬉しいです。
	自治会には加入していますが、集まりに参加したことがないので、あまりわかりません。年配の方が多いイメージで活動に興味をわきません。
	今は小さな子どもがいるので、子どものイベントが多いと助かります。役員も夫婦共働きなので負担の無いやり方なら加入したいと思っています。
	仕事でなかなか参加できないので、子どもの行事だけでも参加可能な、行事があまりないシンプルな自治会があると嬉しい。（子ども中心の）
	お祭りや餅つきなど子どもが喜ぶイベントに参加できるよう、インフォメーションしてもらえると良いです。町内会に入っていないと行けないよね？と思われるので、子どもイベントは誰でも参加OKとかにしたら入りやすいと思います。
	子ども会との違いが分かっていないが、子ども同士交流があるもの。
	地域の安全性や防犯性を高める活動をしている。
	子どもを含んだイベントを開催する。
市に対する 要望等	こんな自治会がこんな活動をしているという事例をもっと紹介する。例えば、自治会館で子ども対象の活動など。
	自治会の防災計画への指導、支援。
	施設など市の助成がかなり必要となってきた。
自治会運 営に対する 要望等	高齢化などで、自治会活動が困難になってきている。
	強制的な役員にはなりたくない。会費は極力安くしてもらいたい。これは活動内容とも関係するが、自治会の目的が、自治会内の年齢構成、考え方等によりなかなか合意を得るのが難しいと考える。
	子育て中の世帯、高齢世帯の役員・当番、働き中の人の役員の輪番制を考慮する。
	持ち回りが大変でなければ。
	親の負担が少ない自治会。
	赤ちゃんを預けられるような仕組みがあれば参加したいです。
	会長など押し付け合わず平等にやっている。干渉しすぎない。

自治会運営に対する要望等	役員や係などがいない。
	フレンドリーで人間関係のいざこざが無いところ。
	若者（20代）が中心の自治会だと参加しやすい。自治会は40～70歳の方が中心のイメージがあり、なかなか参加する勇気がない。
	あまりしぼりがない自治会、活動の意義がよくわかる自治会
	独居老人宅に集金に行くのが心苦しい。（組長の時）（町会費、各種の寄付等） 問7のエ、カ、キ、ク等の理由で退会する人が後をたたない。
	現自治会は資料、運営費等全てを会長が一人で抱えていますので、役員でさえ内情がわかっていない。 自治会の行事として2～3年前よりお餅つきを始めましたが、準備等は全て老人会が行っています。 現会長が辞めない限り加入はしない。
	私は昨年まで、副会長兼防災部長として10年余積極的に活動してまいりましたが、現在は相談役として一線から退きました。その間に痛感したことを記します。 1. 世代交代の時期を失わないよう役員の若返りを励行する。 2. 家族が共に参加できる奉仕活動に自治会の行事（活動）を提案し実行する。 3. 役員だけの活動でなく一般家庭（特に子どものいる）の家族同士が集まる活動・行事等遊びの集会等を取り入れて誰でも顔を見知る機会を多く実行することが大切だと思います。
その他	自治会というものをまず知ることから始めたいと思います。
	自治会は入ってもいいかなと思っているが、なかなか機会がない。
	子どもを育てるのにメリットを感じられれば入りたい。
	子育て中の方や同世代の方がいると嬉しいです。
	短期加入でも良いのか？自治会と聞くと長期で入らないといけないう空気感があるので。
	マンションに案内チラシとかが入れば身近に考えられるかと思いました。
	持家になったら加入したいと思っている。何かあったら助け合えると思うから。
	メリットがあれば（加入したい）。
	自治会は義務だと困る。
	自治会活動であまり良い話を聞きません。揉め事を作ってしまうと後々まで影響しますのであまり関わりを持ちたくないというのが正直な気持ちです。一生懸命自治会運営している方々には申し訳ありません。
	私は栄町でボランティア活動をしています。他の町会の方からなのですが、色々疑問が届きます。
	ある人は町内でボランティア活動をし、立川市〇〇協会やシルバーでも仕事をしています。自治会には加入していません。その方に直接聞いたところ、自治会に入

らなくてもゴミも出せるし（指定ごみ袋になる前から）、市報は配布されるから何も困らないと言っています。

近所等からは、「おかしい」「許されるのか」との声もあるようです。私も人間的に？かなと思っています。

3. クロス集計結果

回答者の年代と自治会加入状況のクロス

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代・その他
加入している	11	28	15	5	17	60	27
加入していない	54	91	20	0	4	3	5
加入していたが退会した	0	0	1	1	2	0	2
無回答	0	8	4	0	1	8	7
合計(人・n=375)	65	127	40	6	24	71	42

回答者の年代が低いほど、自治会に加入していない割合が高かった。

回答者の居住形態と自治会加入状況のクロス

	戸建住宅 (自己所有)	戸建住宅 (賃貸)	集合住宅 (分譲)	集合住宅 (賃貸)	寮・社宅	その他
加入している	109	1	23	22	5	1
加入していない	36	15	27	80	17	1
加入していたが退会した	3	1	1	1	0	0
無回答	13	1	3	11	1	0
合計(人・n=372)	161	18	54	114	23	2

住宅を所有している人の方が、賃貸の人より加入率が高かった。また、所有している人の中でも、戸建住宅居住者の方が、分譲の集合住宅居住者より加入率が高かった。

立川市自治会長アンケート 調査報告書

平成30年4月

1. 調査の概要

調査対象：市内 183 自治会の会長

調査時期：平成 29 年 11 月

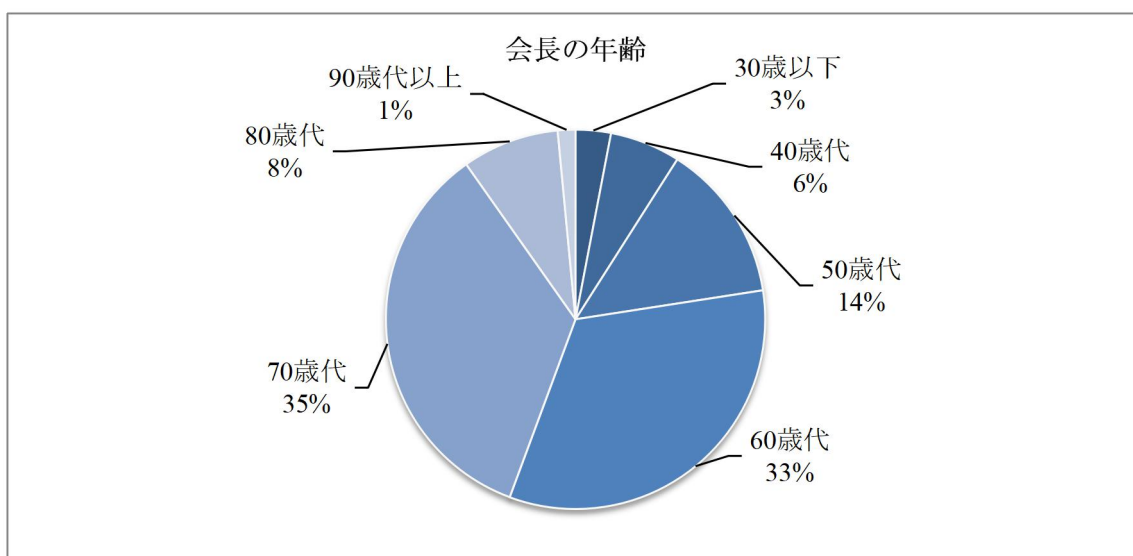
回答数：134 件（回答率 73.2%）

2. 調査結果

（1）会長・役員

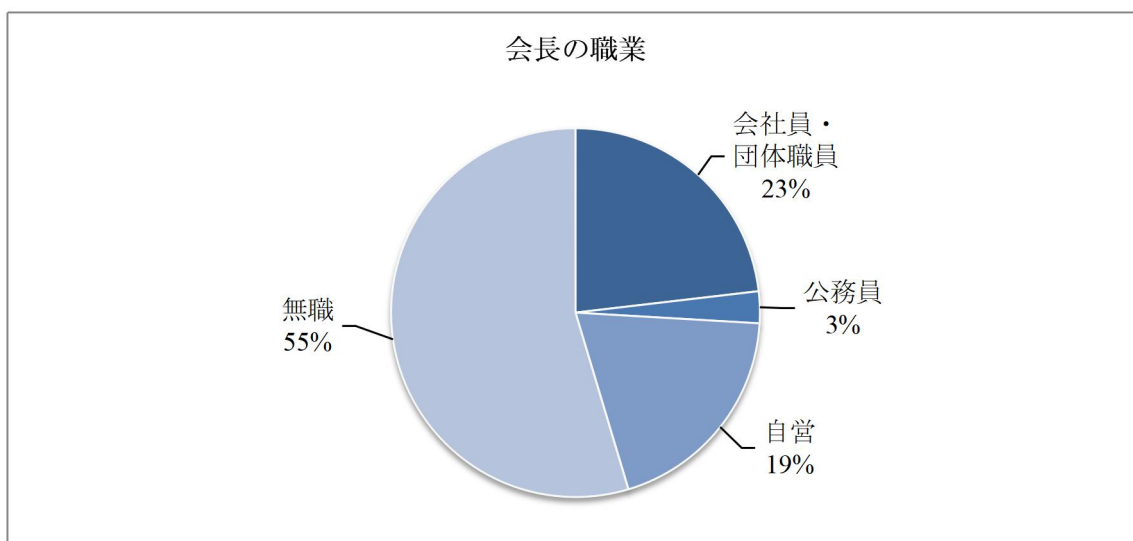
問 1 会長の年齢（年代）

会長の年齢は、「60 歳代」が 44 自治会（33%）、「70 歳代」が 46 自治会（35%）、「80 歳代」が 11 自治会（8%）であった。



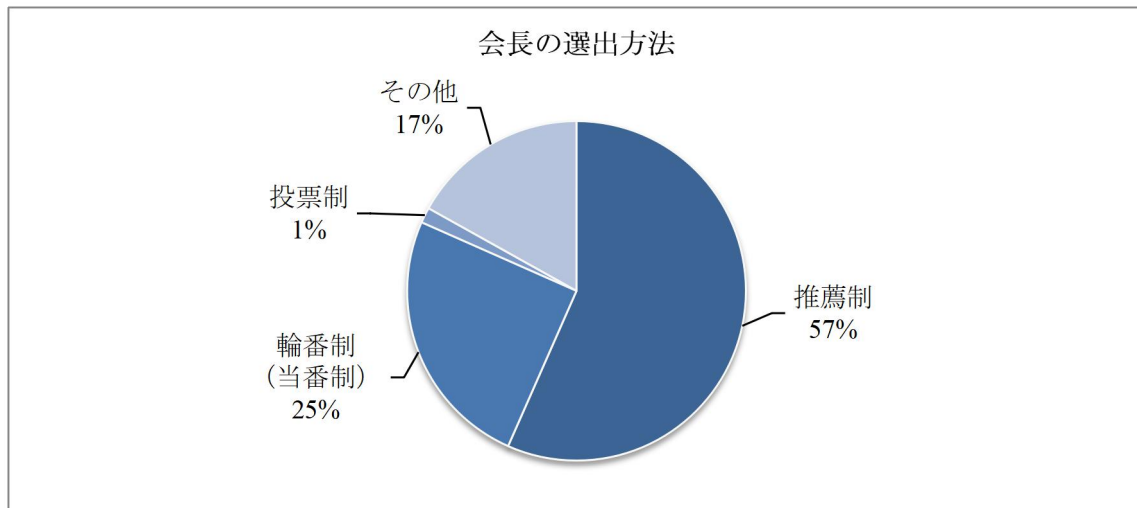
問 2 会長の職業

「無職」が 59 自治会（55%）、「会社員・団体職員」が 25 自治会（23%）、「自営」が 21 自治会（19%）となっている。



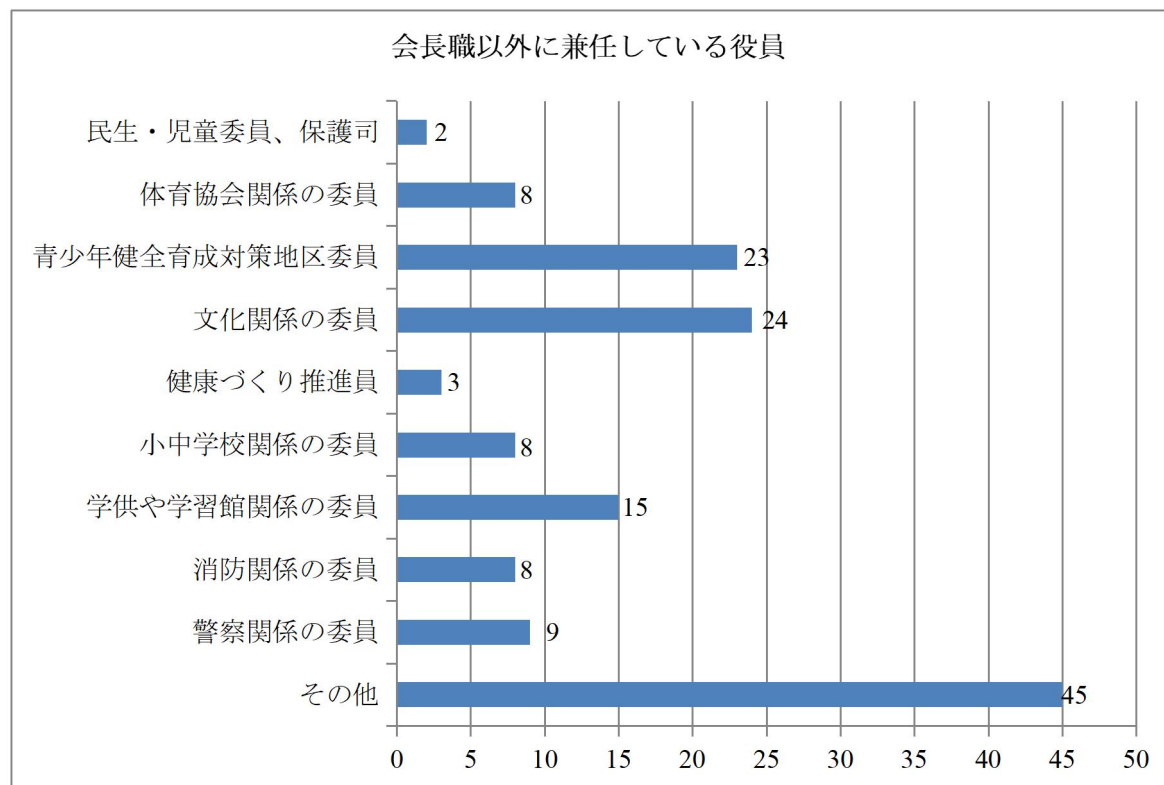
問3 会長の選出方法

「推薦制」が77自治会（57%）、「輪番制（当番制）」が34自治会（25%）を占めている。その他としては、「役員の中で互選」、「後任決まらず続投」、「くじ」、「じゃんけん」等の回答があった。



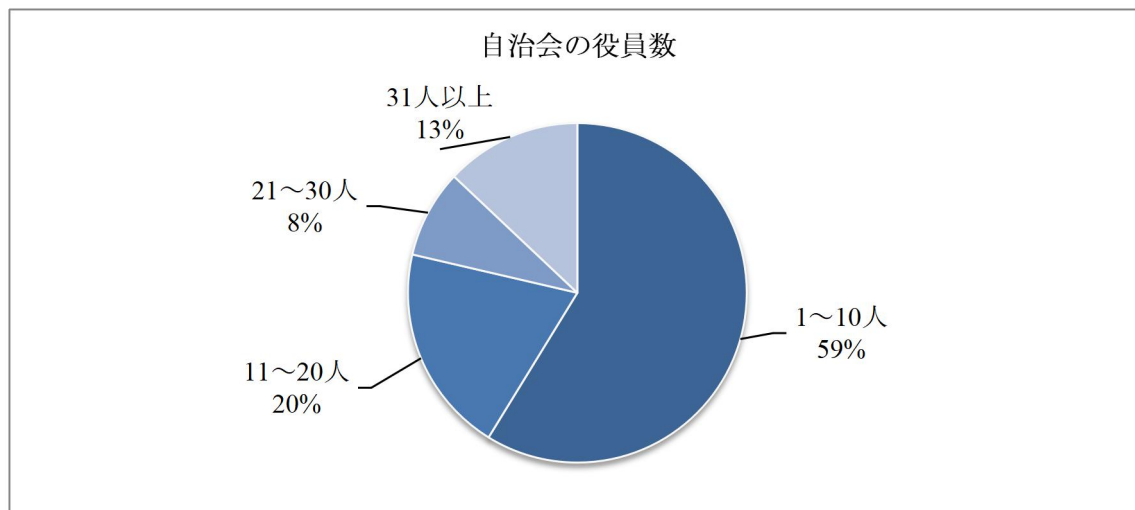
問4 会長職以外に兼任している役員

「文化協会・地域文化会・各種文化団体の委員」、「青少年健全育成対策地区委員」が多い。「その他」の役職としては、「明るい選挙推進委員」、「老人クラブ役員」、「子ども会役員」、「氏子総代」などがある。



問5 自治会の役員数

役員の数「10人以下」が77自治会（59%）、「11～20人」が26自治会（20%）であった。



（2）地域課題と自治会の活動

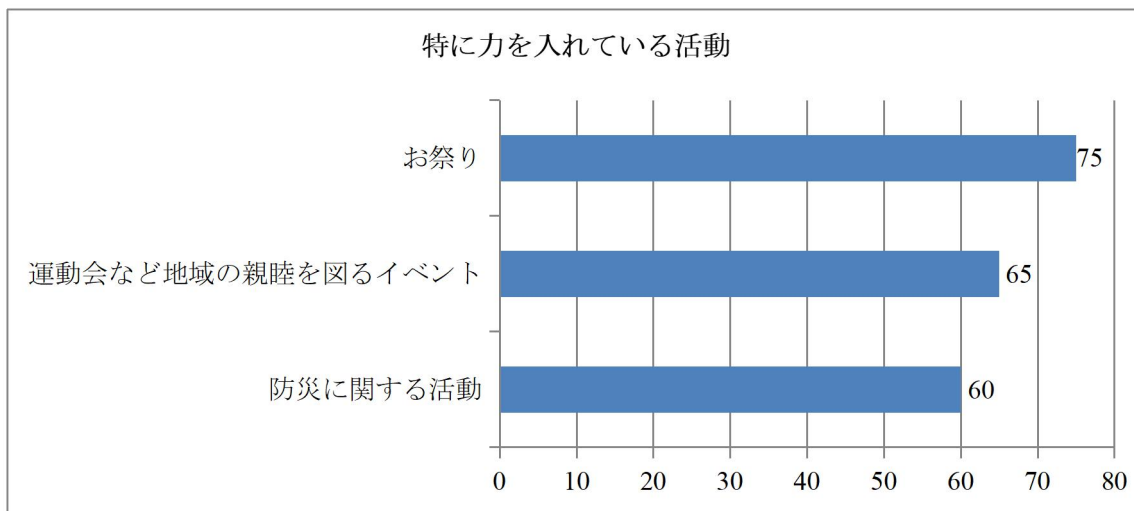
問6 自治会で行っている活動の実施状況

活動の実施率が最も高かったのは、「防災に関する活動」95自治会（71%）、次いで「赤十字などの募金集め」88自治会（66%）、「運動会など地域の親睦を図るためのイベント」79自治会（59%）、「お祭り」77自治会（58%）となっている。

活動内容	実施している	縮小したい	中止した	実施したい
1. お祭り	77	0	11	3
2. 運動会など地域の親睦を図るためのイベント	79	2	14	4
3. 仲間作りを目的とした事業、交流サロンなど	54	1	2	20
4. 高齢者の見守り活動	42	0	4	29
5. 地域で手助けが必要な人の見守り活動	26	0	4	35
6. 子どもの安全や見守り活動	46	0	9	26
7. 子育て支援に関する活動	34	0	10	24
8. 青少年育成に関する活動	46	2	10	12
9. 清掃活動	78	3	8	5
10. 緑化や花を植える活動	38	4	15	10
11. 防災に関する活動	95	1	2	4
12. 赤十字などの募金集め	88	10	9	3
13. 冠婚葬祭	67	3	7	3

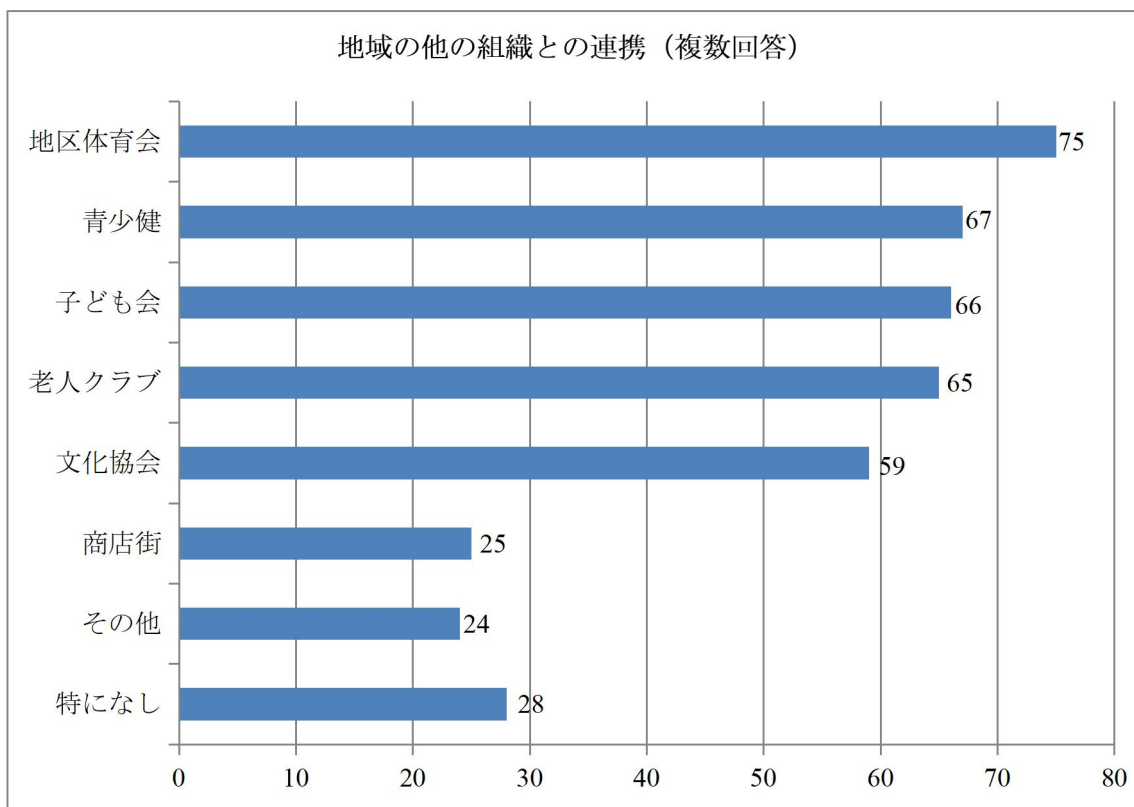
問 7 特に力を入れている活動

問 6 の活動の中で、特に力を入れている活動を 3 つ選択してもらった。その結果、「お祭り」が 75 自治会（56.4%）と最も多く、「運動会など地域の親睦を図るイベント」が 65 自治会（48.9%）、防災に関する活動が 60 自治会（45.1%）という結果になった。



問 8 地域の他の組織との連携

自治会と連携している組織として多いのは、「地区体育会」75 自治会（56.4%）、「青少健」67 自治会（50.4%）、「子ども会」66 自治会（49.6%）、「老人クラブ」65 自治会（48.9%）の順となっている。その他では、「小学校」や「防衛協会」などがある。



問 9 特に重要な地域課題

自治会にとっての地域課題を、特に重要と思われる順に3つ選択してもらった。

1位に上がった課題のうち、最も多かったのは、「一人暮らし高齢者の問題」で51自治会（38.1%）であった。次いで「地域の安全対策や防犯に関する問題」で30自治会（22.4%）、「地域の防災に関する問題」16自治会（11.9%）であった。

重み付け集計（1位に3ポイント、2位に2ポイント、3位に1ポイント）した結果は、「一人暮らし高齢者の問題」が174ポイントと最も多く、次いで「地域の安全対策や防犯に関する問題」が129ポイント、「地域の防災に関する問題」が123ポイント、「住民同士の交流やコミュニケーションが希薄になっていること」が119ポイントの順となった。

地域課題	1 位	2 位	3 位	ポイント	ランク
一人暮らし高齢者の問題	51	5	11	174	1
地域の安全対策や防犯に関する問題	30	16	7	129	2
地域の防災に関する問題	16	35	5	123	3
住民同士の交流やコミュニケーションが希薄になっていること	11	26	34	119	4
災害時の避難行動要支援者についての対策	6	27	19	91	5
活動への参加が少なく自治会に対するニーズに対応できないこと	9	9	25	70	6
その他	6	0	4	22	7
子どもや青少年の育成に関する問題	1	4	9	20	8
空き家の増加や空き家対策	0	6	7	19	9
地域の美化に関する問題	1	4	7	18	10

（３）自治会の組織運営の現状と課題

問 10 自治会の組織運営上の課題

組織運営上の課題について、問題が大きいと思う順に３つ選択してもらった。

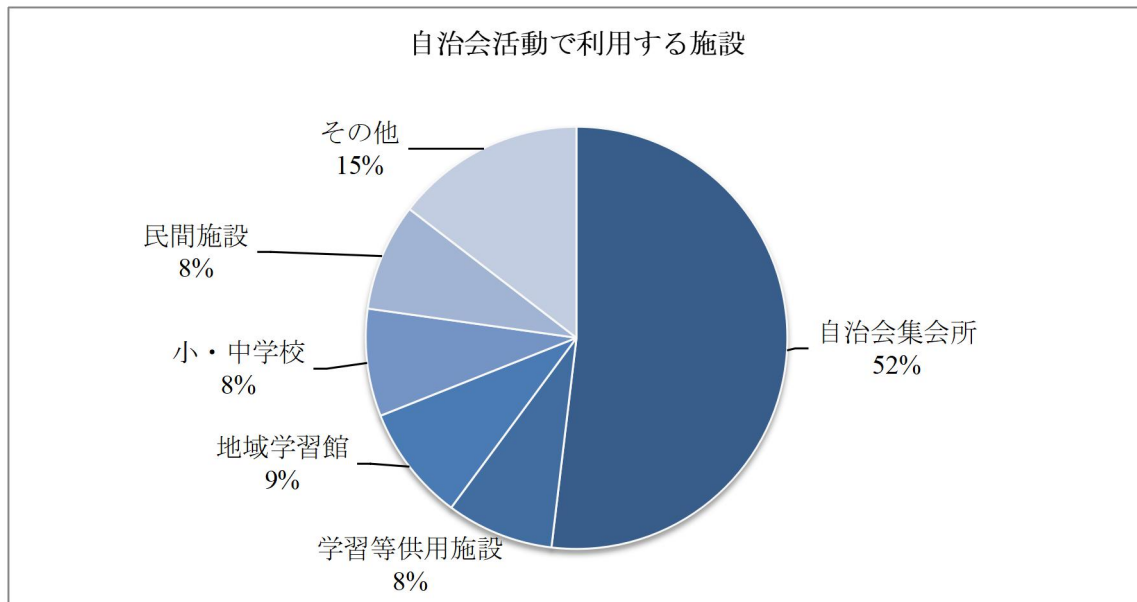
１位に上がった課題のうち、最も多かったのは「役員の高齢化や役員のなり手不足による活動の低迷」で 73 自治会（54.5％）であった。次いで、「会員の高齢化」で 14 自治会（10.4％）、「役員の負担増加」が 12 自治会（9.0％）であった。

重み付け集計（１位に３ポイント、２位に２ポイント、３位に１ポイント）した結果は、「役員の高齢化や役員のなり手不足による活動の低迷」が 244 ポイントで最も高く、「会員の高齢化」が 115 ポイント、「役員の負担増加」が 86 ポイント、「活動従事者の固定化」が 79 ポイントの順となっている。

運営上の課題	１位	２位	３位	ポイント	ランク
役員の高齢化やなり手不足による活動の低迷	73	10	5	244	1
会員の高齢化	14	31	11	115	2
役員の負担増加	12	21	8	86	3
活動従事者の固定化	11	17	12	79	4
加入世帯の減少	6	11	16	56	5
行事参加者の減少	1	13	15	44	6
脱退世帯の増加	3	13	5	40	7
行政から依頼される自治会の仕事の増加	4	2	22	38	8
個人情報やプライバシーへの配慮のために住民同士の交流やつながりが困難	3	5	13	32	9
活動場所（自治会集会所など）の不足	4	3	7	25	10
活動資金の不足	1	4	4	15	11
防犯灯の維持管理に対する負担	1	1	4	9	12
その他	0	0	3	3	13

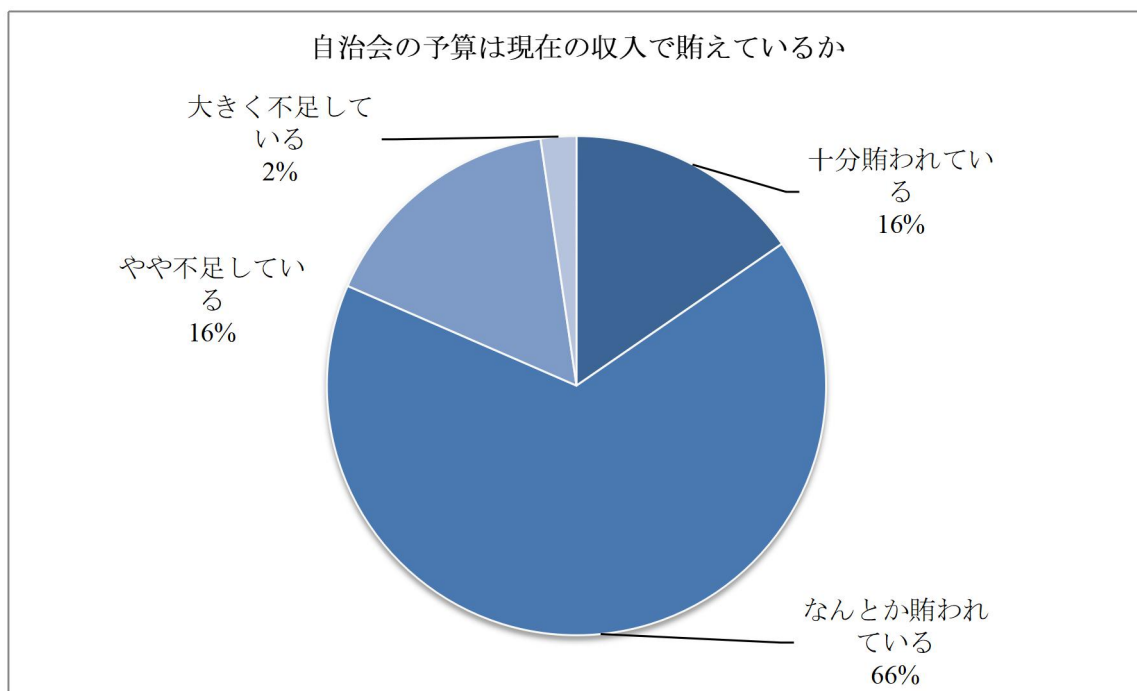
問 11 自治会活動で利用する施設

自治会活動で利用する施設は、「自治会集会所」が52%、「地域学習館」9%、「学習等供用施設」・「小・中学校」・「民間施設」がそれぞれ8%となっている。



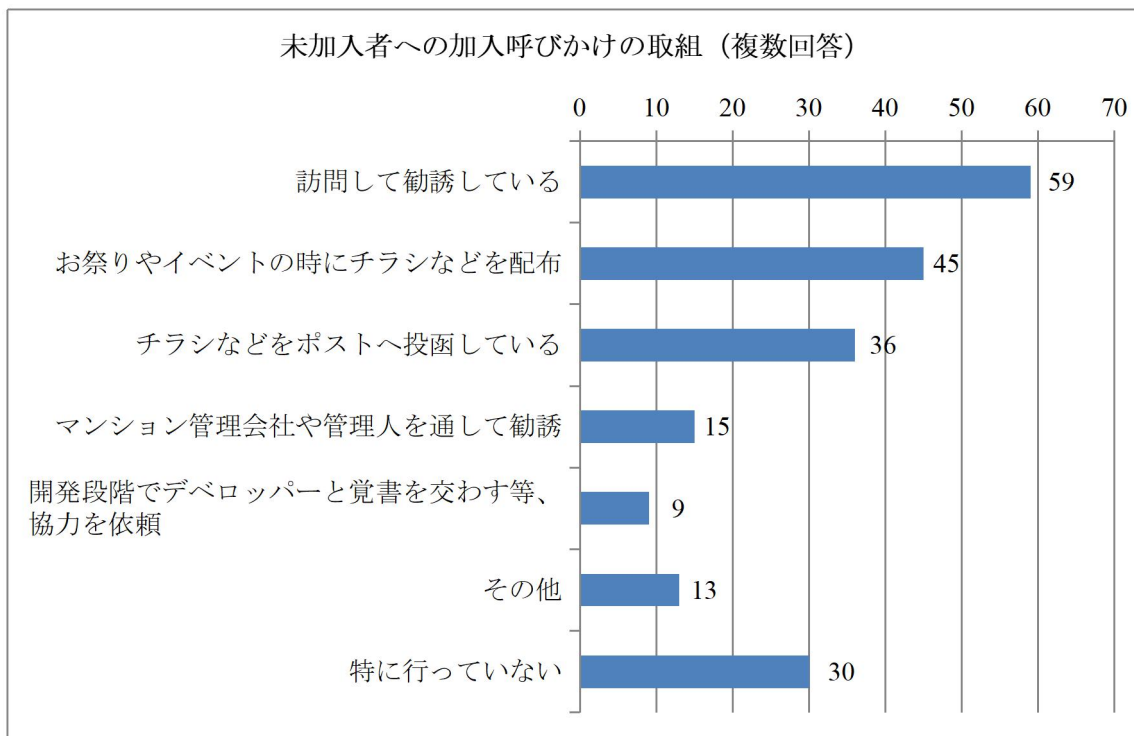
問 12 自治会の運営は現在の収入で賄えているか

82%の団体は「現在の収入で賄えている」と回答している。一方、「大きく不足している」と回答した団体が2%、「やや不足している」が16%である。



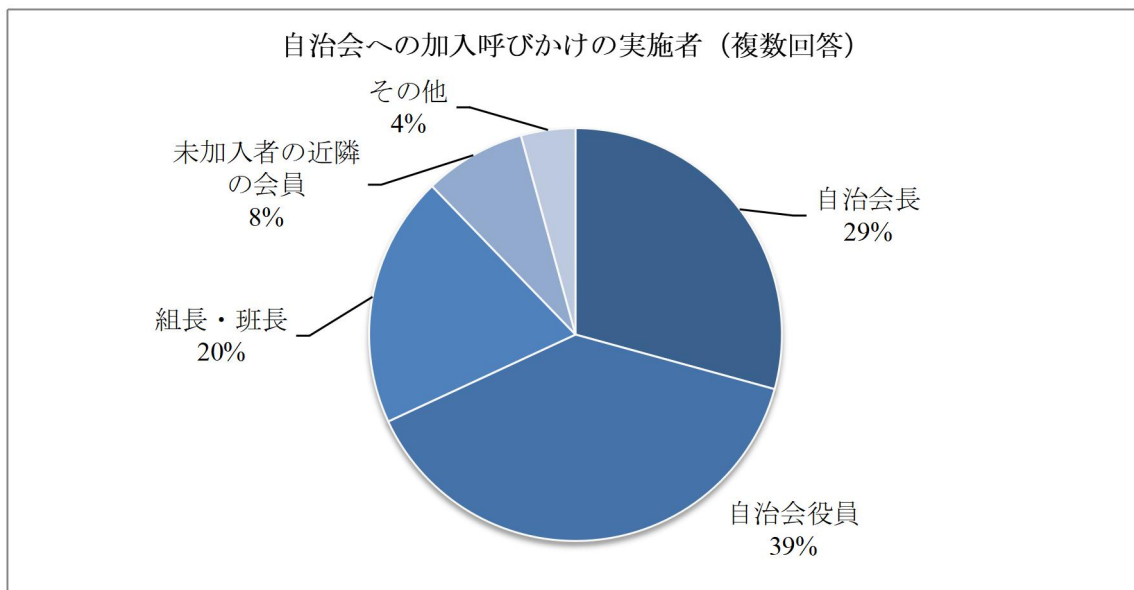
問 13 未加入者への加入呼びかけの取組

「訪問して勧誘している」が 59 自治会（44.4%）と多くの団体が訪問勧誘していた。次いで「お祭りやイベントの際にチラシなどを配布」が 45 自治会（33.8%）、チラシなどをポストへ投函している」が 36 自治会（27.1%）であった。また、未加入者への呼びかけを「特に行っていない」という回答は 30 自治会（22.6%）であった。

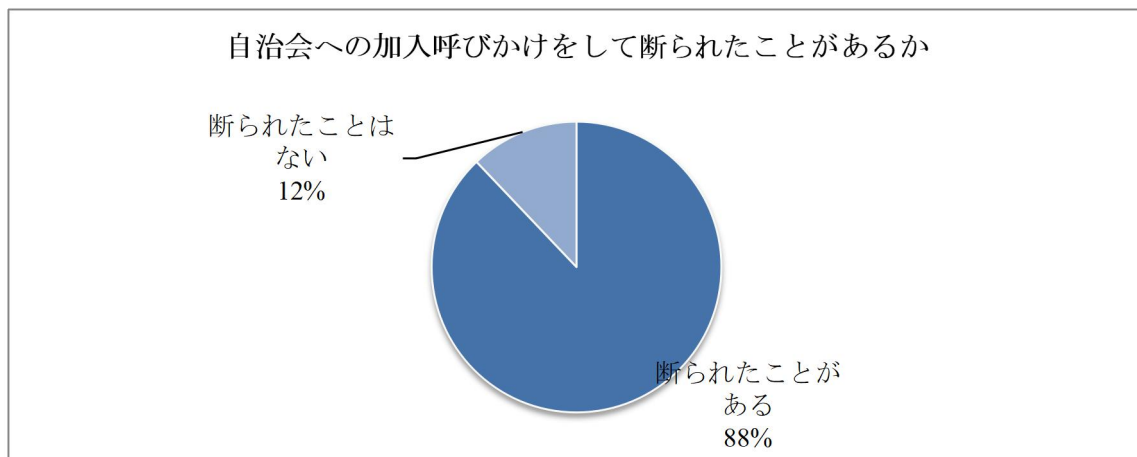


問 14 自治会への加入呼びかけの実施者

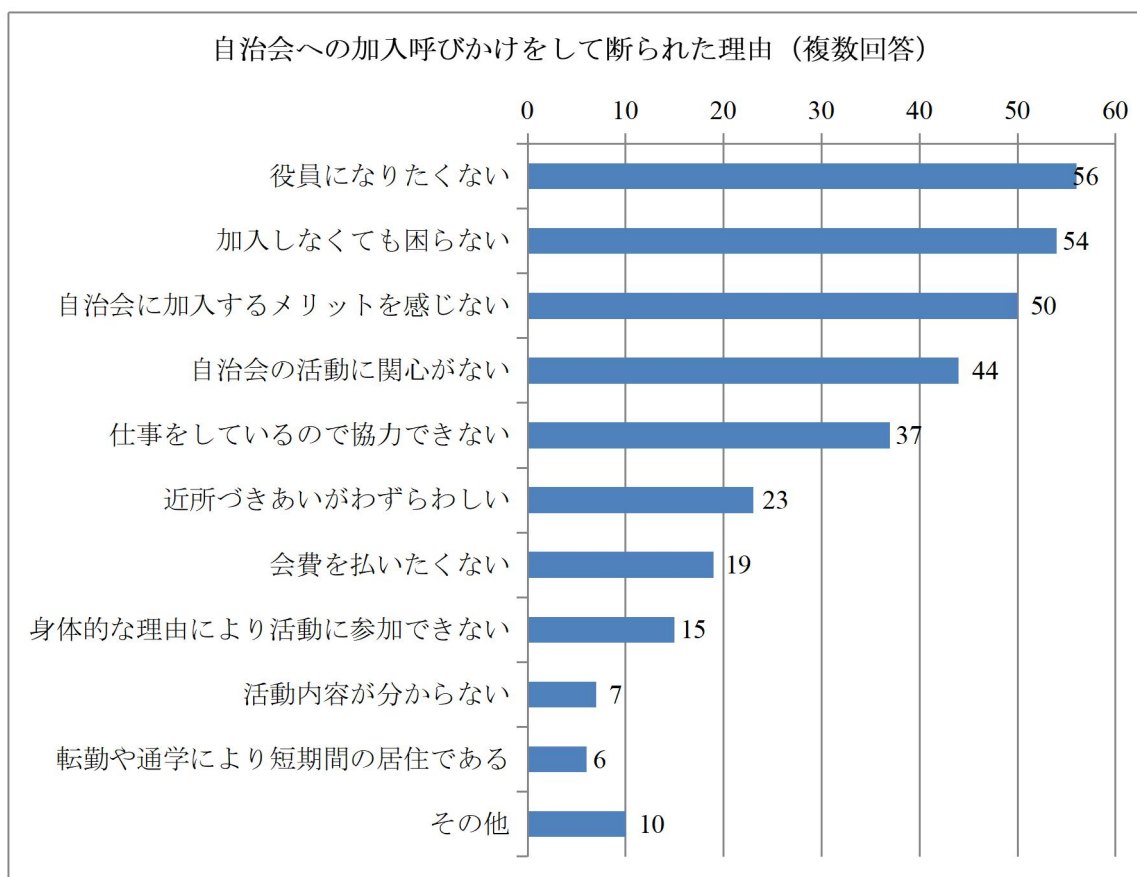
自治会への加入呼びかけの取組を実施しているのは、「自治会役員」が 73 自治会（39%）、「自治会長」が 55 自治会（29%）、「組長・班長」が 37 自治会（20%）となっている。



問 15 自治会への加入呼びかけをして断られたことがあるか。ある場合はその理由。
自治会への加入呼びかけをして約 9 割が断られたことがあるという結果であった。

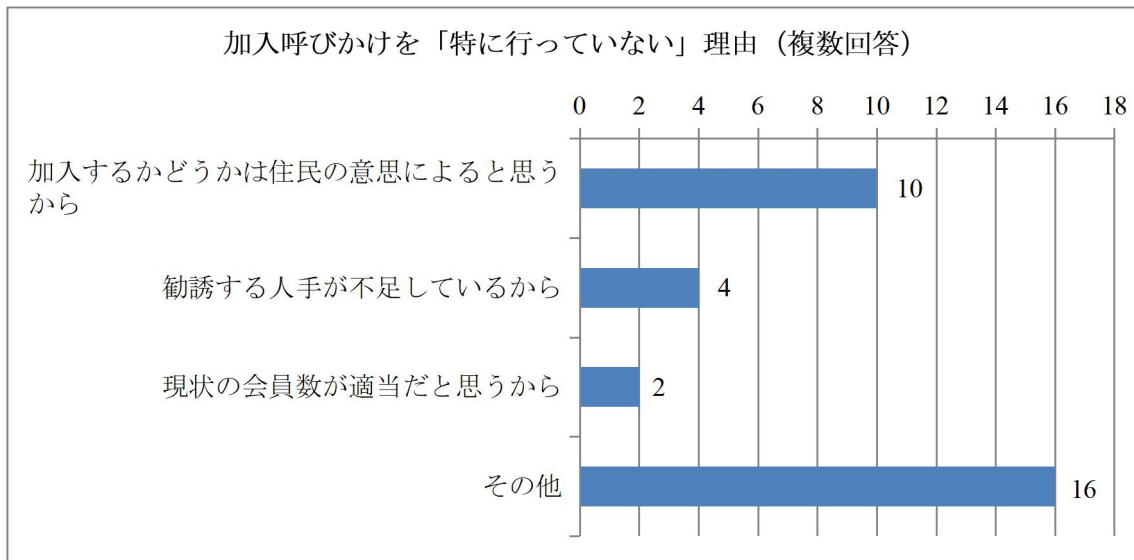


自治会への加入呼びかけをして断られた理由は、「役員になりたくない」、「加入しなくても困らない」、「自治会に加入するメリットを感じない」、「自治会の活動に関心がない」が上位を占めている。



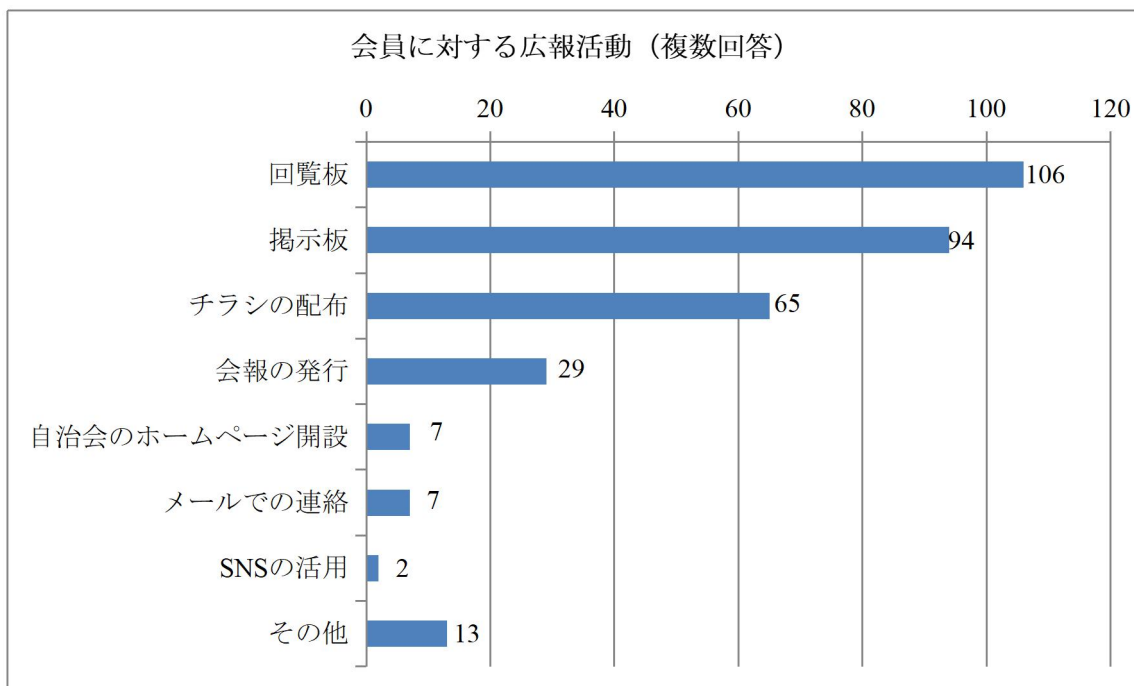
問 16 加入呼びかけを「特に行っていない」理由

問 13 の加入呼びかけを「特に行っていない」理由は、「加入するかどうかは住民の意思によると思うから」が多く、次いで、「勧誘する人手が不足しているから」であった。その他の理由は、団地や小規模自治会で全世帯加入済みという意見が多数であった。



問 17 会員に対する広報活動

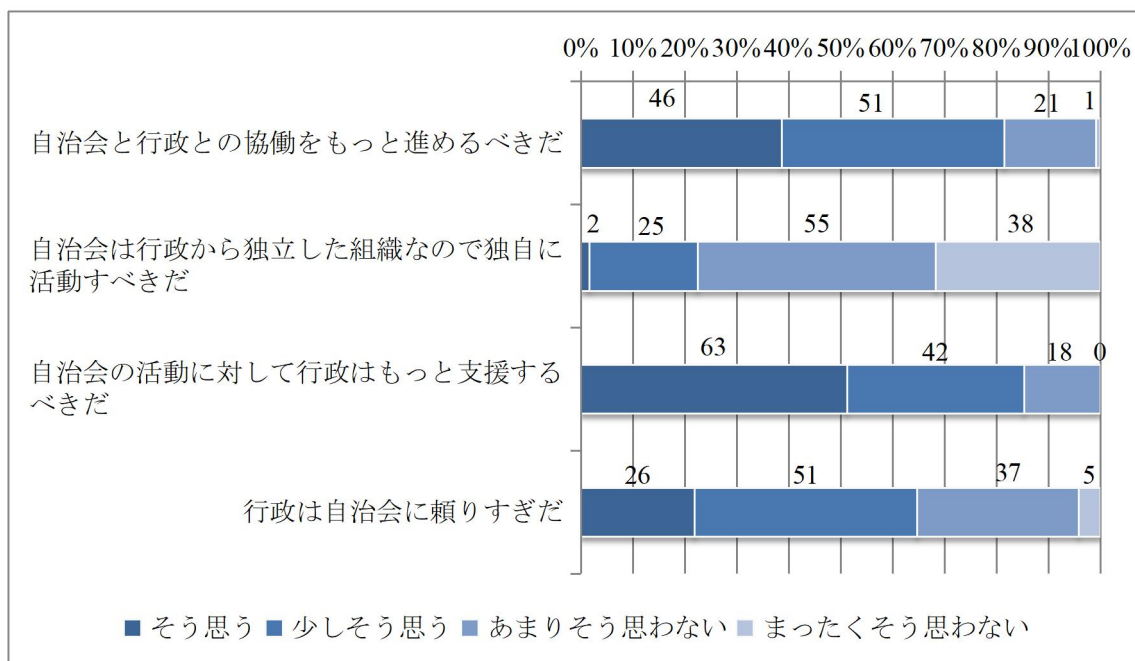
広報活動として多いのは「回覧板」106 自治会（79.7%）、掲示板 94 自治会（70.7%）、チラシの配布 65 自治会（48.9%）である。一方、ホームページや SNS の活用はあまりおこなわれていない。



（４）行政との協働

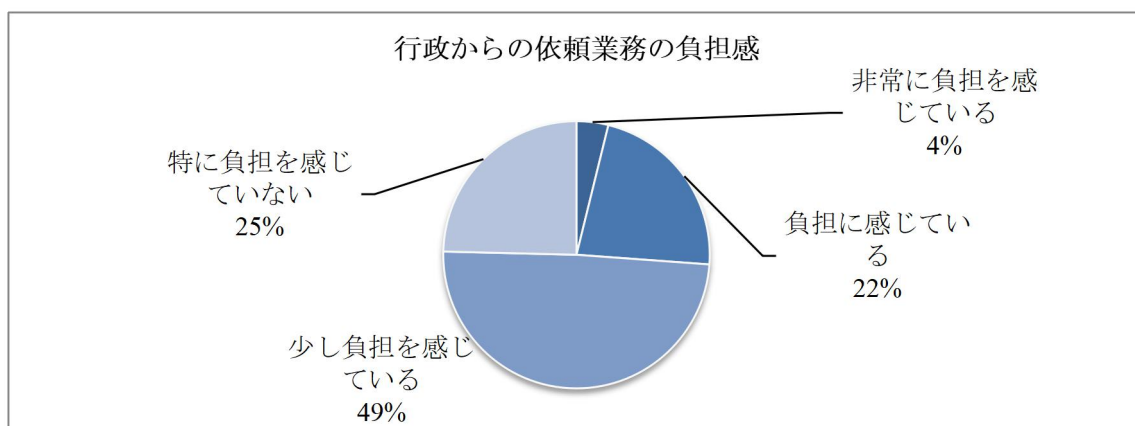
問 18 自治会と行政との協働について

自治会と行政との協働について、「自治会と行政との協働をもっと進めるべきだ」という回答について「そう思う」という回答が 46 自治会（38.7%）であったが、一方で「行政は自治会に頼りすぎだ」に対して「そう思う」という回答も 26 自治会（21.8%）あった。「自治会は行政から独立した組織なので独自に活動すべきだ」について「そう思う」という回答は 2 自治会（1.7%）にとどまり、一方で「自治会の活動に対して行政はもっと支援するべきだ」について「そう思う」という回答が 63 自治会（51.2%）となっている。



問 19 行政（市、国、都、その他警察や消防など）からの依頼業務の負担感

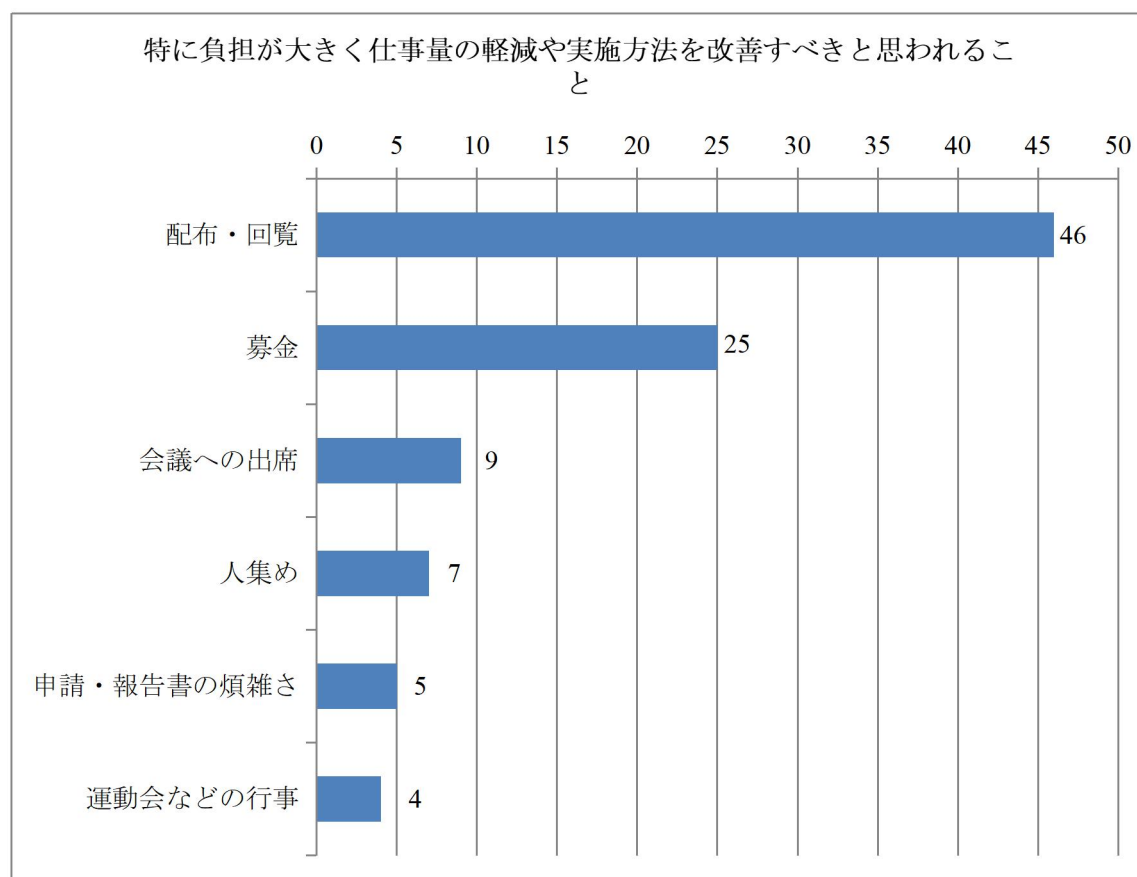
自治会には行政（市、国、都、その他警察や消防など）から様々な仕事が依頼される。これらの仕事について、どの程度負担に感じているかをたずねた。全体の 75% の団体が、行政からの依頼業務に負担を感じている。



問 20 特に負担が大きく仕事量の軽減や実施方法を改善すべきと思われること（自由回答）

自治会の仕事において特に負担の多い仕事量についてたずねた。

最も多かったのは、「配布・回覧」で 46 自治会、次いで「募金」 25 自治会、「会議への出席」 9 自治会、「人集め」 7 自治会の順となった。

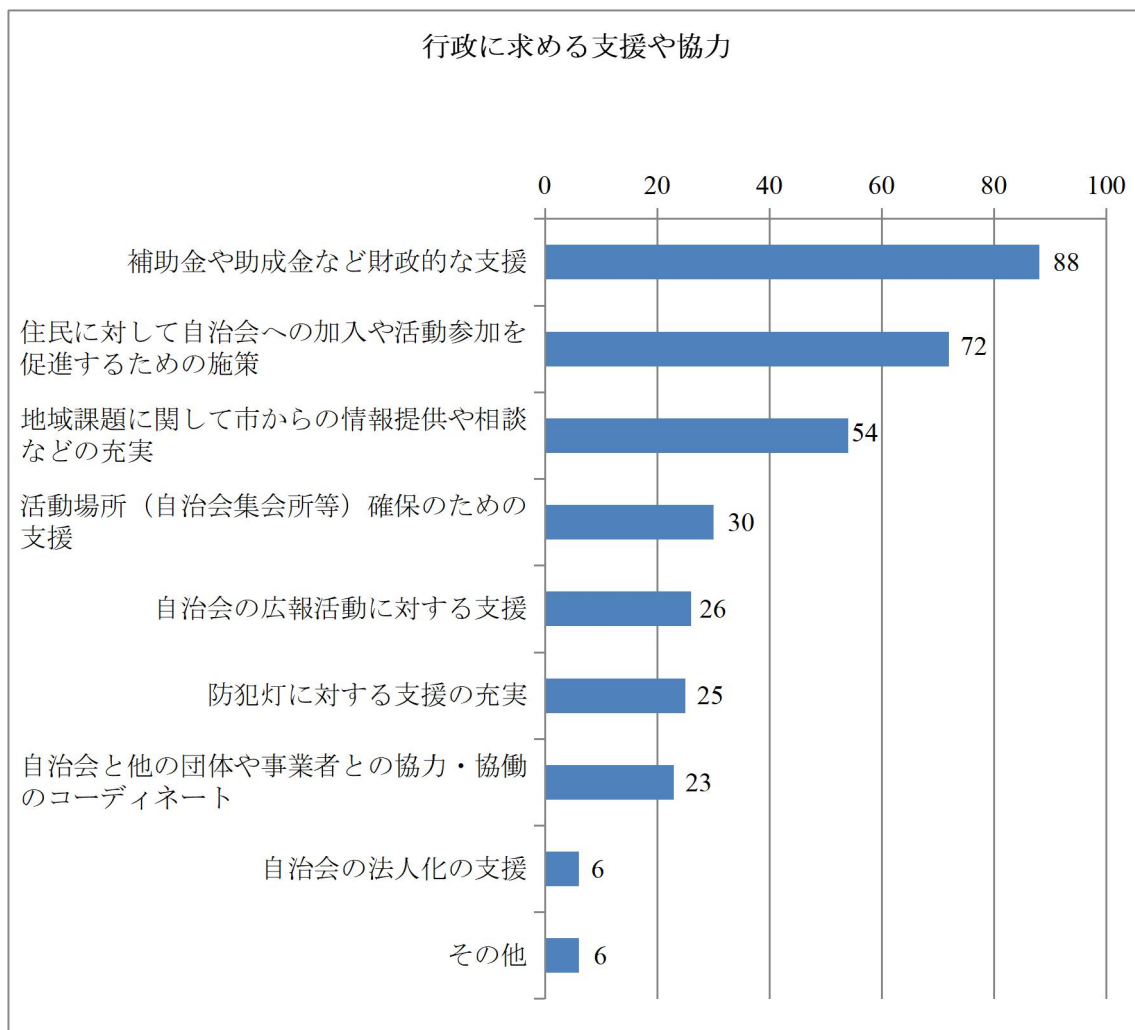


問 21 行政に求める支援や協力

自治会活動に対する行政の支援や協力に関する要望についてたずねた。

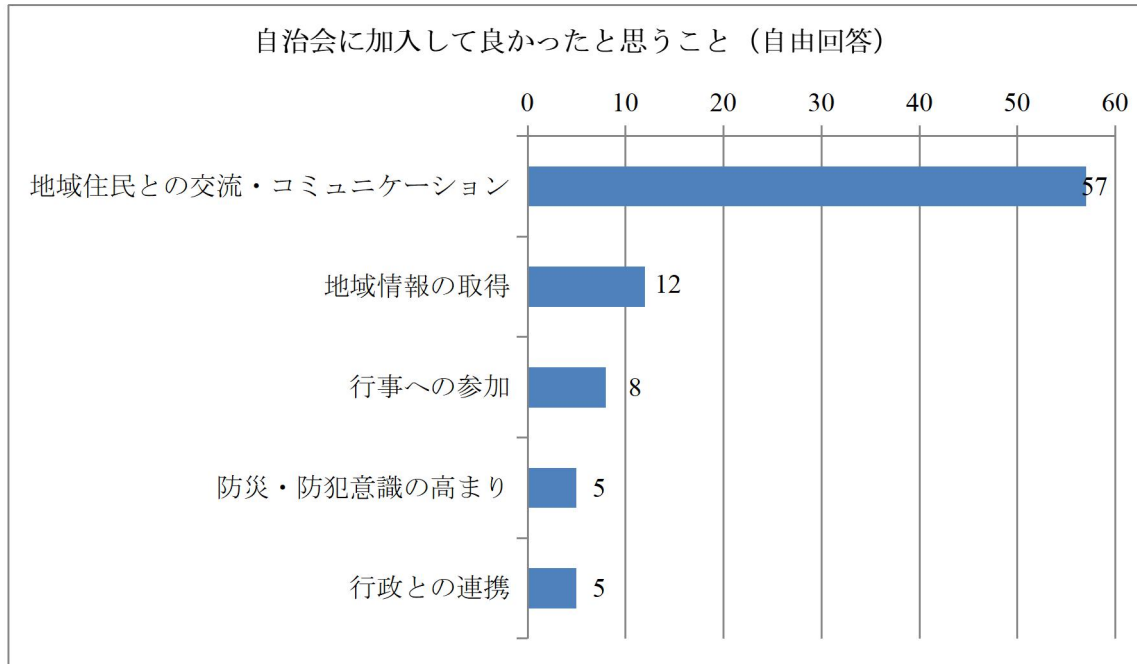
最も多かったのは「補助金や助成金など財政的な支援」88自治会で、次いで「住民に対して自治会への加入や活動参加を促進するための施策」72自治会、「地域課題に関して市からの情報提供や相談などの充実」54自治会の順となっている。

また、「活動場所（自治会集会所等）確保のための支援」30自治会や「防犯灯に対する支援」25自治会と、一定のニーズがある。



問 22 自治会に加入して良かったと思うこと

自治会に加入して良かったと思うことをたずねた。多かった回答のみを集計すると、最も多かったのは、「地域住民との交流・コミュニケーションができた」が57自治会で大半を占めた。その他、「地域情報の取得」や「行事への参加」などの意見があった。内容の詳細は下記「自由回答」のとおりである。



自由回答

住民との交流・コミュニケーション	住民間のコミュニケーションの活発化に貢献できた
	年齢を超えた役員、会員との人生の触れ合い
	多くの人と知り合い、話し合い、理解し合い、助け合い、行事をした事で信頼関係の構築ができた
	自治会員との交流、コミュニケーション
	地域住民同士の交流、親睦
	地域コミュニケーション
	地域の中で人と人の新たな出会いやつながりができ、様々な情報を得る事ができました
	自治会のある事で老若男女を問わず皆様との触れ合いが持てることが一番嬉しいです
	年齢の異なる近所の人と知り合い、会話が出来るようになった
	多くの人と知り合えること
	会員との親交
	顔の見えるご近所づきあいが広がった
	多くの人と知り合うことにより、日常生活にゆとりと安心を感じる

住民との交流・コミュニケーション	地域の中に知り合いが増え、挨拶することが多くなった
	町会活動で付き合いのなかった方とコミュニケーションを取れたこと
	自治会を通して、いろいろな人との出会いがあり、友人が増えた
	多くの人たちと会話ができ、知り合えること
	会員同士の連携
	近隣に住んでいる人がわかり親しくなれる
	地域との交流ができる
	地域住民とのコミュニケーション
	地域の住民との接点が増えたこと
	地域の人と知り合いになれたこと
	会員相互の親睦が深められた
	地域の団体個人とのコミュニケーションが拡大したこと
	会員と顔見知りになれたこと（どこのどなたかが判る）、地域諸団体のメンバーと顔見知りになれたこと
	交流の場があって良いです
	知り合いが増えた
	近所づきあいが良好です
	近隣とのお付き合いがしやすいこと
	会員相互の理解の増進
	地域の人とは仲良く、人間的にもいろいろ話合え、交流できて私は毎日が充実しています
	ご近所とのつながりが出来た事が良い点
	地域とのつながり
	多くの住民と知り合えたこと
	地域の人々と交流する機会が増えたこと。知り合いが増えたこと
	地域住民と顔を合わせる機会が多くなり、知人が増えること
	全体としてコミュニケーションの場が増えた
	役員になり今では通りですれ違っても挨拶しなかった人と挨拶する様になり、知人が増えたことが良かったと思います
	地域住民との交流
	近所の人と話せる機会が増えた
	交流ができる
	地域での交流が増え、多くの人と知り合えた
	住民の方々と交流ができる
	様々なイベントを通じ住民間のコミュニケーションを図ることができ、またゴミ問題なども自治会として改善を図ることが出来るのではと思っています。何のためのコミュニケーションをという「災害に備える」事だと

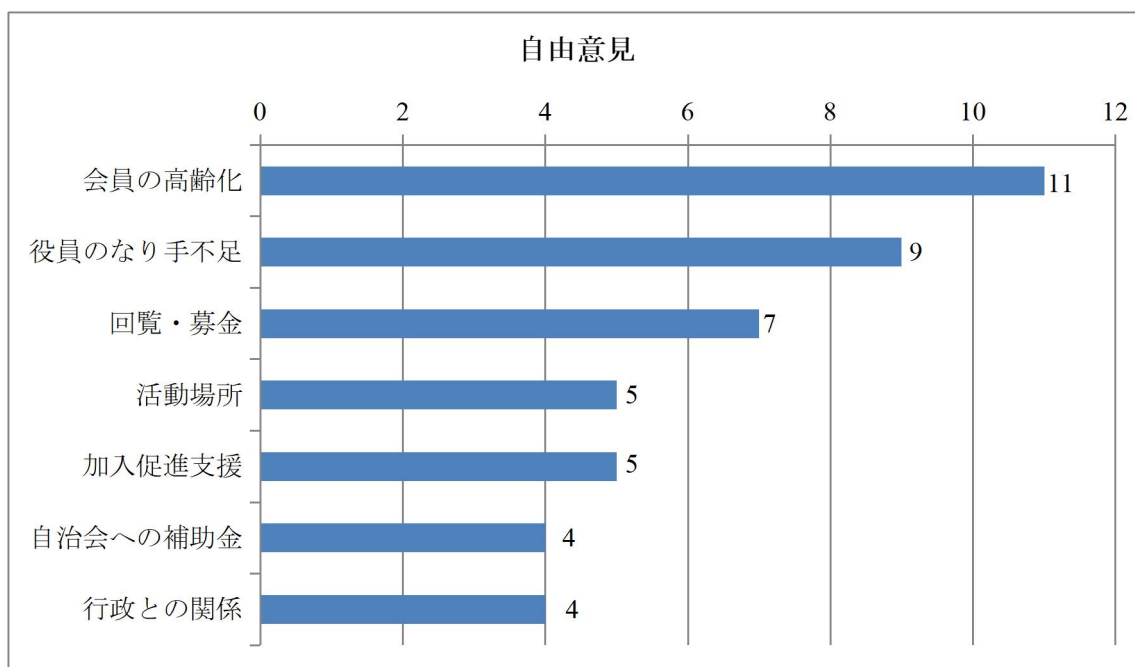
住民との交流・コミュニケーション	思います。日々の活動が少なからず「防犯」や「防災」につながっていると思います
	会員相互の親睦が増し、声を掛けあったり助け合ったりできる関係を築くことができた
	会員同士の交流が増した
	皆様との交流が出来るようになった
	町内の方と知り合うきっかけとなった
	顔見知りになったこと
	顔見知りが増えた
	自治会員の顔見知りができ、地域になじむことができたこと
	近所の人顔を覚えらる。葬儀の時近所に知らしてあげられる。協力できる
	会員加入が無かったら知り合えない方と知り合えた
	自治会内で顔見知りが増えたこと
	地域の人たちと交流できるようになり、かつ行事運営に参加することにより得られる達成感があるというもの
	他地区との交流が出来ること
地域情報の取得	会報や回覧等により、地域の情報が得られること
	地域の情報に詳しくなる
	市からの情報提供
	情報がいち早く収集出来ること
	地域の情報がよくわかること
	情報が豊富になった
	会員同士がコミュニケーションを取る事によって、地域の方々への情報や状況を把握することができる
	様々な問題が日々起こっていることを知らされて、みんなにも知らせていけたらと思う
	地域の歴史や成り立ちを知ることができたこと
	地域の活動内容がよくわかり、個人的には大変ためになる
	地元の人脈・歴史の把握が出来る
	地域の活動に参加する機会があり、知らなかったことを沢山教えて頂いた、興味を持つ事ができたこと
行事への参加	色々な楽しいことに参加できる
	色々なイベントに参加する
	行事をやる事は大変だが、終わった後の達成感がある
	地域行事に慣れ親しめること
	運動会・スポーツ大会・防災訓練に参加できること

行事への参加	色々なイベント情報や行政案内等が速やかに得ることができる。絆カード、その他イベントの割引券等の特典がある
	老若男女、出身地、家族構成、仕事、趣味など別々の人たちが集まって、清掃や会議、祭り、いろんな行事に関わっています。その間に教えられること・考えさせられることなど、ためになることが沢山あり感謝しております
	地域に伝わる伝承行事等に参加することができる
防災・防犯意識の高まり	共通の目的である、災害に対する防災意識の高揚に向かって少しずつではあるが前進していること
	防災について共助の精神が芽生えてきたこと
	防災、防犯に対する連帯性の充実
	有事の際の準備をこれから進めたい
	地域の自主防災活動、防犯活動、健康づくりなど参加などして非常に良い経験が出来たと思います
行政との連携	行政とのパイプができた
	行政と連携していること
	行政、市民活動の状況が判ること
	会長になって市役所との連絡がすみやかにとれる様になったこと
	地域、行政の仕組みが理解でき、知人が増えた
その他	地区との連携
	近隣との絆・他部門との連携（「みんなの西砂川」ホームページによる情報入手）
	子供が3人いるので、困った事があったら直接言ってもらったり、安心して育てていける
	会員がほとんど70歳以上の高齢者なので、子どもが自治会の仕事に参加することを大変喜んで下さり、子ども自身が役に立てているという事を感じながら生活していること
	子ども会を独立させず自治会に組み込んだことにより若い世代の協力も行事の時に得られるし充実の場となっている
	個人で申し込むより団体で出来る事（1件当たり負担が安くすむ）
	大変な役割を担当していますが、町会のコミュニケーションを図り、色々な相談に対応する努力をしています
	良いのか悪いのか全くわからない
	特に恩恵を感じない
	あまりない
	以前は近所付き合いが深まるという効果があったが、最近は希薄になっているのでメリットは少ない

その他	加入して良かったと思う事はあまりない
	転居当時子供がまだまだ幼かったので、隣近所を知ることが重要でしたので。ですが、すぐに役員をするようにと言われ困惑しました。下の子が2歳位でしたので。現在会長代行ですが、市からの書類が非常に多く、主婦、介護士、ヘルパー病院への付き添い等々全くはじめての会長職は非常につらいものになっています

問 23 自由意見

自由意見をたずねた。多かった回答のみを集計すると、最も多かったのは、「会員の高齢化」11自治会、次いで「役員のなり手不足」9自治会、「回覧・募金」7自治会の順になっている。「活動場所」や「加入促進支援」についてもいずれも5自治会から意見があった。



自由回答

会員の高齢化	当自治会も高齢者が多くなり、自治会を退会する人が増えている。しばらくはこの傾向が続くと思うが、加入率が下がっても自治会活動が継続できるよう、自治会財政面、行事の中身、自治会運営面を変えていくべきと考える
	80歳以上の人に役員、特に会長の仕事は無理で、7年後には、会長又役員を出来る人が10戸位になる。そんな中で心配なのは、自治会に入っていないと災害が起こってしまった時、物資等の割当が遅くなるのではないかとという事で、今までも自治会に踏みとどまってきました。もし自治会が無くなっても、災害の時差別のない対応が出来る立川市であって欲しいと

会員の高齢化	思います
	高齢化に伴う問題
	当団地では高齢化が進み、一人住まいも多く、痴呆気味の人もあるので、見守りだけでは対処が難しくなってきました。（社会福祉協議会の方と住宅公社の方にも話をしています）研修会等考えて頂ければありがたい
	弱い立場の方（高齢者、足腰が悪くなった方、一人住まいの高齢者、障害のある方）など階段の上り下り、ゴミ出し等、目にした時は出来るだけ手助けしていますが、毎回という訳にもいかず心苦しいですが、対策を考える必要があります
	会員のほとんどが70歳以上の単身世帯なので、日常生活を送るうえでの手助けをすることが増えてきました。そのためほとんどの会員は自治会活動をするに及ばないのが現状です。この自治会の現状が近い将来の地域社会の縮図なのではと感じております。今年は駐車場周りの剪定を予算の厳しい中、住宅課で行って頂き大変助かりました。ありがとうございます。おかげ様で、心配していただいたご近所の方もきれいになり喜んで下さいました
	高齢化が進み、一人世帯や亡くなられたための空き家が増えつつある。今後一層そのような状況になっていく中「自治会」をどうしていくのか模索中である
	当自治会では会員がちょうど二層に分かれている状態です。役員はほとんど70歳以上の高齢者ばかりです。この先若い方に引き継いでいただけるか心配しています
	高齢化に伴い役員になる方が少なくなること
	介護疲れなのか、高齢のせいのか、話の通じない自分勝手な住人がいて皆が迷惑しているが自治会として手立てがないこと
	最近1人暮らしが増え、孤独死も有りますが、発見の遅れは個人情報云々が大きな原因になっていると思います
役員のなり手不足	役員のなり手がいない。現役員も全ての人が仕事を持っており、会議を行うにしても、なかなか集まってもらえない状態です。現在は70歳でも仕事をする時代になり、仕事と会の両立する仕組みを作る必要がある。
	体育協会の行事で市の大会と重なったり、人手を出すこと等で負担を感じていること。
	公園利用申請の件（自治会利用） 利用するための市役所に申請手続きに行く。その場で許可がもらえない、大変不便。※不便の理由 役員はまだ働き手が多く、申請するには会社を休まなければならない、又許可を取りに行くにも仕事を休む状況。役員のなり手がいない理由の一つである。

役員のなり手不足	<p>明るい街になると信じているが、最近転居してきた方々は、自治会に加入しない傾向にある。寂しさを感じる。災害時などが心配。原因の追究が必要。近頃の人個人主義に走っているようだ。大げさかもしれないが「社会の在り方」「教育方針」に依存しているのだろうか</p>
	<p>現在交代してくれる人がいなくて会長5年目です。これは長すぎますか。自治会長が1年交代では、自治会の実情は理解できないし、加入促進も無理と思われます。3年～4年が適当かと。</p>
	<p>自治会長への負担が大きく、實際上退職された方や、自営業で時間の都合が付きやすい方に頼らざるを得ない状況にあります。次代を背負う若者が自治会の中心になって行かなければならないと思うのですが、仕事を持っている若者には負担が多いのが現状です。成功例、好事例があれば教えて頂きたいと思っております。</p>
	<p>立川市は山も川もなく、住民は危機感もないので、自治会に入らなくても良いと思っている人が多い。又年会費や色々な募金もしなくてはならないので、負担に感じる人が多いのも事実です。又役周りが早く、それがいやで終わると退会してしまうため会員数が減っている原因となっている。</p>
	<p>地域住民で意見が2分されている。①高齢者は自治会を希望するが運営はできない。②共稼ぎ世帯は活動に参加できない。以上から個人で運営しています。地域活動に必要なため。自治会は個々の家で考え方が異なり、参加するのを好まないことが多いが、無理に参加させるのは厳しい。</p>
	<p>役員の成り手がなく、少ない人数での運営となり、さらに役員への加重が加速している。役員を身軽にしていく方策を検討して行こうと考えている。</p>
回覧・募金	<p>回覧依頼が支部長事前協議承認のもとに指示されるので、単なる下請仕事の感は否めない。</p>
	<p>市の回覧物の大封筒に所属のないものが見受けられるので改善をお願いしたい。</p>
	<p>配布、回覧が多く困っています。</p>
	<p>配布物が多い。電子化できないものか。</p>
	<p>回覧が多すぎる。</p>
	<p>掲示板がないので、文書の配布が大変です。回覧も機能していないためコピーして各家庭に配っています。雨など降ると気を使います。</p>
	<p>会議の意見で「自治会は集金マシンではない！」という意見が強くある。募金の回数（5回）が多すぎる。特に赤い羽根が終わったら同時に歳末助け合いが始まり、休む間がない（赤十字、社会福祉、緑の募金）等多すぎる。それだけでなく自治会だって人数が減りつづけている会員をつなぎとめるのに精一杯で加入促進に奔走しているのでお金を出させるのは非常にづらい。</p>

活動場所	活発に活動する分、集会所の使用料等の費用が多くなり頭が痛いところです。
	公会堂の地代を安くして欲しいです。
	自治会で自由に使える自治会館がない。役所で土地の提供を考えて欲しい。会館を確保することで①自治会の行事、イベントなどを増やすことができ自治会への関心度が高まる。②脱会者が減り、加入者が増える期待が持てる。③連携が深まることで、地域の活性化が期待できる等々、自治会館の有無が地域活動に大きく左右するものと考えます。
	自治会の実情から、集会所などが持てず、若葉町の清掃工場に隣接するグリーンセンターをいつも借りて役員会、納涼会、立川市の出前講座などやっています。新清掃工場が平成 34 年度から稼働し、現清掃工場の解体に伴い、跡地の学習等供用施設あるいは地域学習館などが作られなければ、自治会活動はできなくなるのではと心配です。市の計画では、全市的にこの種の施設の統廃合、減少の方向のようですが、自治会にとっては死活の問題です。
	下水道・私道の補修・公園の使用（の簡便化）・市の施設（会館など）をもっと自由に使わせてほしい。規則が厳しすぎる。
加入促進支援	避難所運営活動のように、加入、未加入に関わらぬ方が対象となる活動での未加入者の参加への支援をお願いしたい。
	加入促進のために早く条例を作ってほしい。
	会費無償化や半強制加入（P T Aのように）など、理想的なビジョンをお示しただけならば、住民の理解も進むかと思います。
	自治会加入率を上げるため、自治会員以外にも開かれた地域でのイベントを企画したいが、財政事情により躊躇している。金額は低くてもよいので、東京都の地域の底力再生事業助成よりもハードルの低い「会員加入増強助成金」的な制度があればありがたい。
	防災活動（特に地震）を中心に、町会加入者の促進を。
自治会への補助金	自治会員にならないと補助金が出ないのがおかしい！！会員以外でも回覧板を回したり、防災訓練などにも参加させています。
	先日隣の 180 人（子供数人）の自治会長様とお話する機会がありました。当マンションは 101 世帯で市から補助と（活動補助金 45,000 円ほか自主防災活動補助金 25,000 円）と自治会費 200 円/人・月で運営しているが、先にあげた町会は競輪場からなどの補助も有り、年間 300 万（びっくり）の予算があり、自治会格差があるのは驚きました。自治会連合に関しても先の隣接する自治会の下部組織として活動しなければならないのに疑問を持っております。自治会連合に参加したいと思ってもそういう壁を感じております。

自治会への補助金	現在自治会活動を進めていく上で、コミュニティ活動より防災にかかる費用が掛かるにも関わらず、市からの補助はコミュニティ活動＞防災となっているのが疑問。25,000 円の防災補助では何もできない。
	書類に印を押しただけで提出できるとか、助成金でも前年度を比較して（予測）して計算せず数字の中から選びいれるだけにするとか行政の方が動いて頂いて会長職を軽くしていただければ幸いです。
行政との関係	市役所にはある程度相談に応じてもらっている。
	協働推進課と自治会長とのコミュニケーションが不足していると思う。自治会長は自治連会長、三役、常任委員以外にも多数いると思われる。行政側のアプローチのかけ方を工夫してみては。
	自治会とは、自治とは、市の行政と自治会との関係はどうあるべきか。市長は市の自治を発展させようとしているのか、あるいは行政の末端としか考えていないのか。
	行政は自治会の情報をどの程度共有しているのでしょうか。逆に行政は自治会という組織をどのように利用しようとしているか細かい説明が欲しいです。
マンション対策	ワンルームマンションが増えています。開発段階で自治会加入の義務を建主にPRしてもらいたい。（建築確認）
	マンションが多くなり個人情報等が問題です。
	自治会への加入率を上げるには、立川市の特性からマンションの住人に加入促進を図るのが一番良い。そのためには市の政策として開発デベロッパーに建設計画時から開発指導要綱等と一緒に説明するのが良いと思う。また、建設が完了すると管理会社に移行するが、管理会社は自治会への協力意識が低いので、親会社であるデベロッパーとの協議段階で協力を取り付け、引き継ぎしてもらう方法が良い。
自治会の運営	何年経っても、自治会がどのような活動をすればよいのか明確な答えもなければ行政からのアドバイスもない。自治会マニュアル（防災マニュアル等）も町会などに適しているのだろうか、マンション自治会に適しているとは思わない。
	自治会の役員をやるのに、役員同士が仲良くなれたらと思いますが、仕事の内容の違い、進め方の違いでいろいろあり、今あんまり楽しくないです。小さい公園の掃除は、近所の方がやる方が効率が良いと思います。沢山の人でやればもう少し大きなことができるかも。砂川公園のお祭りを近くの自治会でやらないかとか自治会長を紹介しあったりとか。そこで自治会加入のアピールをしたり出来ないものでしょうか。1 年間のみの自治会長なので、運動会もどうなっているのかさっぱりわかりません。年度のはじめに砂川の催し物のがわかれば自治会で参加するかどうか考えられるので。

自治会の運営	これからは支部ごとに活動と一緒にいくことが必要なのかなと思う。各支部の自治会の統合も必要なのかなと思う。
活動者の固定化	<p>運動会も応援する高齢者が多く若い世代は2世帯の参加でした。新年会も集まるのはいつもの昔からのメンバーだけ。それだけでも意味はありますが、私たちはもう先が見えています。災害が多くなっていますので、そんな時は自治会が重大な意味を持つことは明らかです。班同士の集まりを呼びかけても、新会員の方々はほとんどみえません。簡単にと会則を改めましたがこれは重大な問題だとなってみて始めて分かった次第です。(会長もフットワークの良い人が良いはずです)</p> <p>町民運動会の参加者がいない。プログラムの人数に満たない。できれば中止にしていくなど見直しをしてほしい。(今年は台風と選挙でなくなった。役員は皆喜んでいた。)</p>
防犯灯	<p>防犯灯を増したいが予算が少なく実施できない。</p> <p>防犯灯について、市道に対しては市で管理してもらいたい。自治会費の35%が電気代及び防犯灯の交換の費用になっている。(自治会管理の防犯灯は53灯)</p>
その他	<p>自治会の避難所は第2中学校であるが、訓練の制約があり第2小学校へ移動しています。一度は第2中学校へ移動して訓練をしたい。</p> <p>入会して6ヶ月なので、これからいろいろな問題が出てくると思うが、同じ人間が関わるので話をすれば解決するのではないかと考えている。</p> <p>自治会の地域が市の中心から離れている(とび地)こともあって広報や選挙カーが来てくれず先日の選挙戦は盛り上がらなかった。又隣接している国分寺市との交流が全くないので、行事やイベントの情報が手に入るとありがたい。</p> <p>毎年東京都公社住宅本社、支社と共益費予算折衝と自治会諸要求を行っている。会長1年2年では諸要求はなかなかできない。</p> <p>若葉小学校の跡地活用について情報提供を随時お願いしたい。</p> <p>国立音大南側歩道の拡張交渉をお願いします。玉川上水駅に向かう際、歩道が狭いので、人や自転車のすれ違いに苦労します。どちらかが車道に出て進むことになり、交通事故発生リスクが高まります。市の方が音大と交渉していただけないでしょうか。</p> <p>林泉寺通りの北交差点は以前より危険な場所として対策依頼をしていたが、残念ながら死亡事故が発生してしまった。</p> <p>意識の高い会長が回答するとアンケートへの答え方も違うと思います。私たちの自治会の様に一年交代ではきちんと答えられないので何回かアンケートを取って欲しいです。</p> <p>このアンケートは、内容が難しく会長個人の意見を記入するには荷が重い</p>

その他	です。記入に時間もかかるし、提出が大変に遅くなり申し訳ありませんでした。
	次に女性でも会長職を受けて頂けるように成ればと思い、受けるには大変な思いをしましたが、男性の方はいろいろ社会でご活躍してきた方々ばかりで昔の肩書を思いだし、とてもついていけない論客ばかりで、専業主婦にはとてもきつい8ヶ月でした。

市民満足度調査の自由記載欄から 自治会に関する事項を抜粋

平成30年4月

【概要】平成 25～29 年度市民満足度調査結果（平成 25 年度は市政に関するアンケート調査結果）の自由記載欄から自治会に関する事項を抜粋した。合計 44 件

1. 自治会加入促進、活動参加促進

- ・町民運動会などに自治会会員以外の参加者が少ない。もっと参加者を増やすアイデアを教えてください。H29
- ・自治会会員が減ってきていますが、自治会の必要性がわかりづらい。役員の仕事が大変そうと思う人が多いです。近所付き合いが少なく、災害時が心配。楽しい自治会、役に立つ自治会、安心できる…等々、プロの方のアドバイスがもらえると良いです。H28
- ・最近自治会を脱退する家庭が多く、災害時の対応が心配だ。その理由の一つに高齢化の為役が出来ないのが現状。個人情報問題により、名簿がなく、自分の班の人の TEL もわからないで困ることがある。自治連の問題だけでなく立川市の行政でも一考を願いたい。H28
- ・自治会活動が高齢化して、若い人の参加が少ない。地域の問題とせずに、市として支援して欲しい。（自治会参加への呼びかけなど）H27
- ・地域で皆んなが参加できる取り組みを企画してほしい。H27
- ・自治会の入り方がわかりません。H27
- ・大震災以降、地域の自治会等が注目されていますが、それとは反対に自治会に無関心な人々が多くなり、自治会離れが多発しています。自治会は自主的なものですが、それだけでは成り立っていかなくなってきているのも現状です。市としても自治会の必要性は認めていると思いますので、必ず自治会等に参加するよう P R（広報等）などをお願いしたいと思います。H26
- ・老人クラブ等に入会したいと考えていますが、マンション住まいだと地域の自治会が無いので入会できません。個人だけでも入会出来ると良いですが。H26
- ・近所に自治会や子供会のようなものがないので、あるといいです。H26
- ・柏町 4 丁目の子ども会はどこに問い合わせをしたらいいのですか？自治会などがないと聞いています。夏祭りなどに参加したいと思っています。H26
- ・防災や福祉活動老人会と自治会の方にご苦勞かけますが、我が家では積極的に参加していません。H25

2. 地域のつながり、近所の方とのふれあい

- ・昔は”むこう三軒両どなり”といって、くったくのない近所づきあいだったが、現代は”となりは何をする人ぞ”で会えば「おはよう」「こんにちは」で終わり、”さわらぬ神にたたりなし”という感じで暮らしている人達が私の回りにもたくさんいます。近所の中にも気の合う方と仲良く気持ち良く毎日を私はすごしています。H29
- ・地域自治会のつながりが大切な絆となって行けるよう、より良い改善がされる事を願っております。H29

- ・地域のつながりが特に大切になっている現代、自治会でかろうじてお祭り開催などで交流する事ができるが、もう1歩ふみ込んだつながりを持つ事が難しい（できない）と感じる。災害や防犯など、又高齢者、子どもの見守りをより強化にする為に「つながり」を強化する事は必要だと考える。例えば各地域や神社など一部のお祭りも良いが、立川市全体で盛り上がるようなお祭り（街をねり歩くパレードのようなものでもよい、運動会みたいなものでもよい）をやる等皆で（立川市民だれもが）楽しめる催しがあればよいと思う（参加型として）。その場合、企業や市の施設も学校などすべての参加が望ましいと思う。問44（地域の福祉活動等）では確かに活動はある事があるが、一部の人たちの利用、活用で終わっているように思う。H29
- ・単身世帯が今後もっと増えてくると思う。町会では本人に関わる希望のない限り接点をもてない。何か（事故）あれば地域のあり方を問われる。もっと気楽な感じで関わりがもてると良いと思う。H28
- ・自治会組織以外に気軽に近所づきあいできたらいい。場所や人材かも。何より自分が積極的に行動を起こして協力者を得て、何かできないかと考え中。住み良さは人とのつながりかも。H28
- ・高齢化が進み、単身（主に老人）の家が増えたので、地域のつながりをより強化して（近隣の人達との）、昔のような人を思いやる心が強かった時代に戻れば、良いと思います。市民と行政が一体となってそんな街づくりが出来ればと思います。H25

3. 安心・安全

- ・立川駅南口近辺の繁華街の治安が悪くなっていると思います。昔は住みやすい住宅地だったのです。自治会をとおして警察にもお願いしているそうですが、安全で住み良い住宅地になってもらいたいのが希望です。H29
- ・わが町に外灯を増やしてほしい。H29
- ・防犯灯（LED化）、防犯カメラの設置を増やしてほしい。H28
- ・空家にネズミやハクビシンが発生し、駆除に苦慮しています。自治会では対処できないので。市で対策を立てて欲しいと思います。H28
- ・町会で維持している防犯灯を市管理に移行できないか。H27
- ・自治会に未加入の老人世帯（特に独居者）の把握と「みまもり」等対応の充実。H27
- ・防犯対策として、エリア、ブロックに分けて、地域ごとに動けるようなしくみがあるといい様に思います。（すべての地域に）自治会等が無い為に孤立する世帯が多いはず。安心して生活出来る街づくりをお願いします。防災、防犯、両方に有効と思います。防災、防犯のモデルケースとなって欲しい。H27
- ・毎回アンケートを取っているようですが、半分来たら合格と思い、追加ではがきを送るのは経費のムダです。その費用があつたら、弱者への支援、電灯の少ない町会への補助費用にあてる方が効率的です。H26

- ・高齢者が子どもを見守れるようなコミュニティが必要である。子どもにモラルを教えることのできるのは、もはや老人しかいないのも事実なり。H25

4. 自治会活動の負担

- ・今回のアンケートに関係あるかどうかわかりませんが、自治会行事が多くて（多過ぎて）役員決めが大変です。H28
- ・自治会、子供会活動が負担になるので軽減したい。そもそも自治会の単位が細かすぎる。統廃合を推進して数を減らし、各家庭の負担を軽くして欲しい。昔から住んでいる人だけでなく新しく移ってきた人にもなじみやすい自治会子供会であってほしい。市が中心となって再編改革ができないでしょうか。H27
- ・地域の理事会、若いうちは何でも出来ますが、年をとってからのお役は皆元気な人達ばかりではありません。その辺りを考えて頂きたい。H25
- ・今年度、自治会の班長、ブロック長の役目が当番で回ってきて悩んでいます。今年、80歳になる身としては今回までは頑張ろうと思っていますが、次何年か後に廻ってきた場合、できるという自信はありません。近所の方も高齢化になっていて、代わってもらわけには行きませんので、自治会を止める（脱退する）ことになろうかと考え中です。相互補助としての自治会をぬけるのはちょっとと思う気持ちもあります。市としては自治会のあり方も考えていただければありがたいと思います。H25

5. 新住民と旧住民

- ・地域が昔からの住民との格差がある。町内会でも役員は昔からの住民が受けついでいる。だから新しい空気が流れない。H28
- ・季節にあわせ、お祭り等もあり、よいと思うが、昔から住んでいる方々の絆が強く、途中から来た者としては、なかなか入りづらいところがある。自分から積極的に行くことも必要だが、他から来た人たちが何か交流できるイベントかなにかあればいいかな、と思います。（なかなか思いうかばず、申し訳ありません！！）H28
- ・地域のコミュニティを図りたいとは思っておりますが、周りが昔から住んでいる方々で「よそ者」扱いが取れません。挨拶にしても、こちらからしても、相手から返ってくることはありません。災害時のことを考えると、自分で対応して行くしかないと思っています。心配です。H27
- ・他から立川市に引っ越して来た人や、会社のお店などの人々が立川を居心地の良い街だと思ってもらえる様に受け入れる気持ちを持って接するのが良いと思います。商店街や町会への誘いなども含めて。H27

6. 集会施設、掲示板等について

- ・砂川五番には、自治会の班交替などには、狭い集会所では、無理な為、こぶし会館を借りる。そこまで徒歩で行くには、かなり努力がいる。H28

- ・私達町会には公会堂はあるが、広場なし。盆踊りも出来ません。子供達がかわいそうです。H27
- ・私の所属する自治会（ ）に市の広報等を掲示できる掲示板がなく、自治会への連絡が不十分で、全て印刷物を作り、連絡しているか、警察、消防関係などの行事等を掲示できる、掲示板を設置してほしいと思います。H25

7. 自治会費

- ・自治会の仕事（一年交代）を何回かして思うこと。だんだん高齢化してきていて、無職（年金生活者）も多いなか、自治会費が、どの家庭も同じという問題を市でぜひ考えて欲しい！！。自治会総会にも出しても、各々の家庭事情（EX、単身高齢者、2世帯の高齢者など）で一様に会費の額が決められず、結局すすまず。市のレベルでぜひ案を出して欲しい。年金者にとって自治会費は負担です。結局脱会の方向になり災害時に備える方向と逆になります。ぜひ検討を！！H28

8. 自治会への市の関与

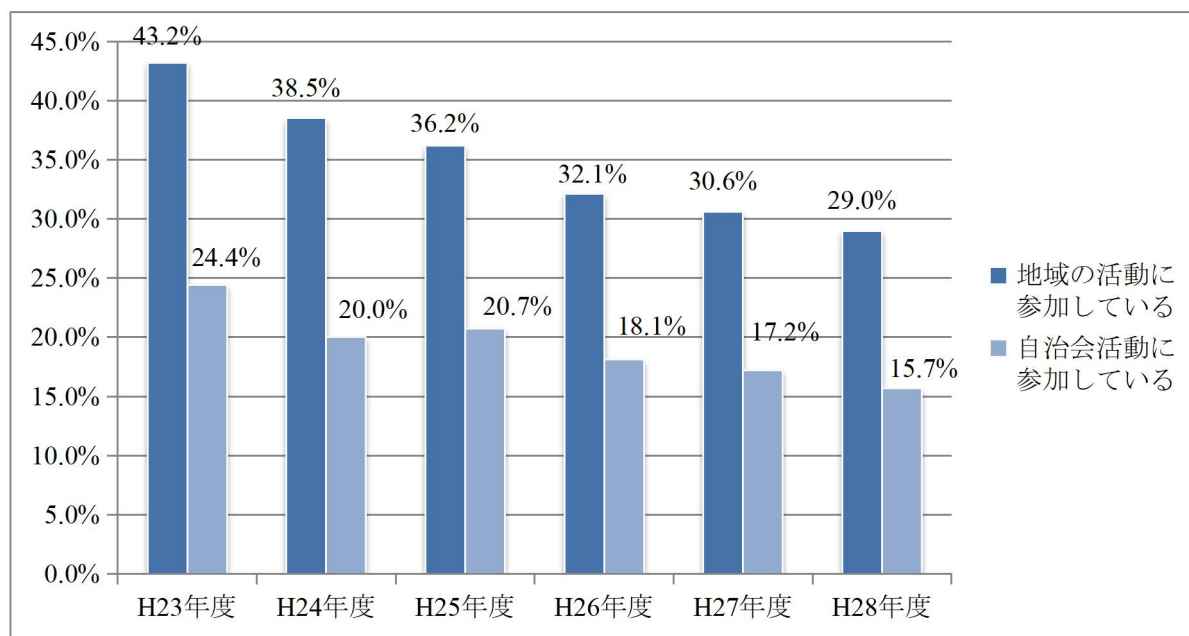
- ・地域活動に市がもっと関与すべき（地域に任せきりにしない）H29
- ・自治会活動について、市が関与してもよいのではないか。自治会に加入している者の利権を増し公表すれば加入者が増えるのでは？災害時の高齢者、障害者の支援もままならない。H25

9. 自治会への批判等

- ・とにかく町会の活動がわずらわしいです。そういう団体に入らずに生活したい人がいることを市は無視しないでほしいです。広報などを読んでも入会をすすめる記事ばかりです。多様性を認めることができこそ、公のサービスとなりうると考えます（今回のアンケートも自治会に入る前提で気分が悪いです！！）武蔵野市の例を考えてみてほしいです。H29
- ・市は自治会に入るよう言いますが 飲み会で会費のほとんどを使ってるし、入って数十年たちますがいまだによそのものあつかいです。酒飲まない人は、用無しです。H28
- ・我が町会では、役員のサークルの集いであり、一般には縁が少ない。老人が増える時代、だがこのような対策がみられない。H27
- ・町内会活動、会費だけ取り、何も見返りない。会長はずっと無競争選出。もっと防災のこともやって欲しい。赤い羽根募金をしているのに、羽根は届けられない。H27

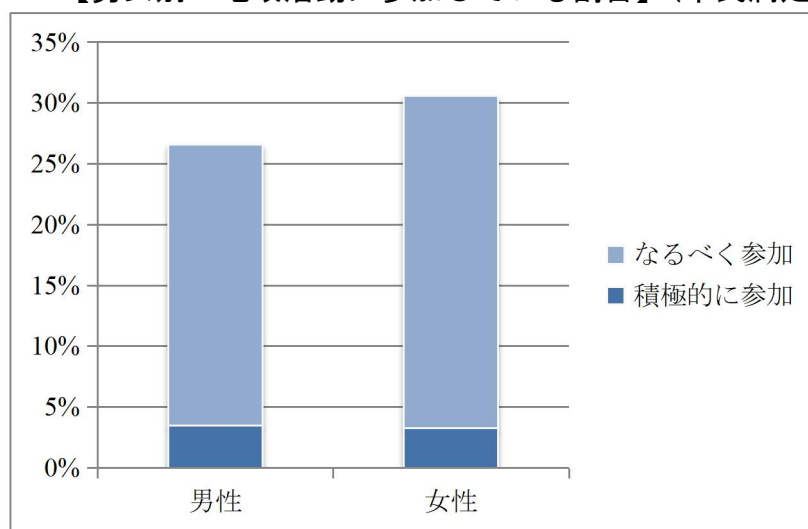
(参考) ○立川市民の地域活動に対する意識

1. 【地域の活動に参加している市民の割合】(市民満足度調査より)



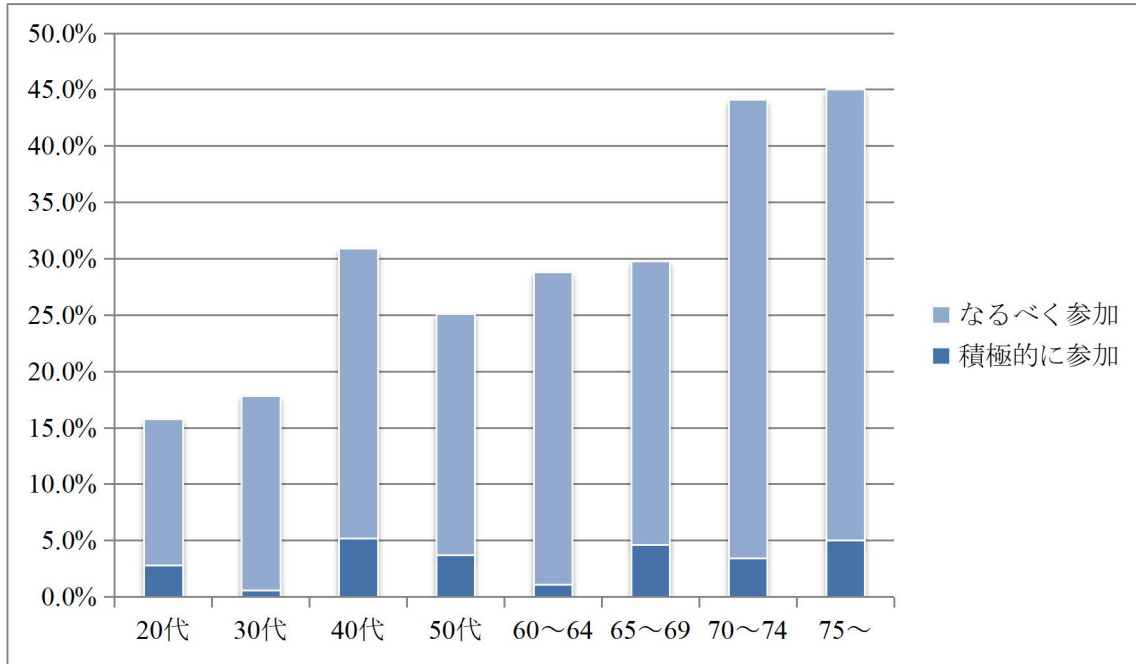
- ・地域の活動に積極的に参加、なるべく参加している市民の割合は、年々減少している。
それに伴い、自治会活動に参加している市民の割合も減少。

2. 【男女別 地域活動に参加している割合】(市民満足度調査 2017 より)



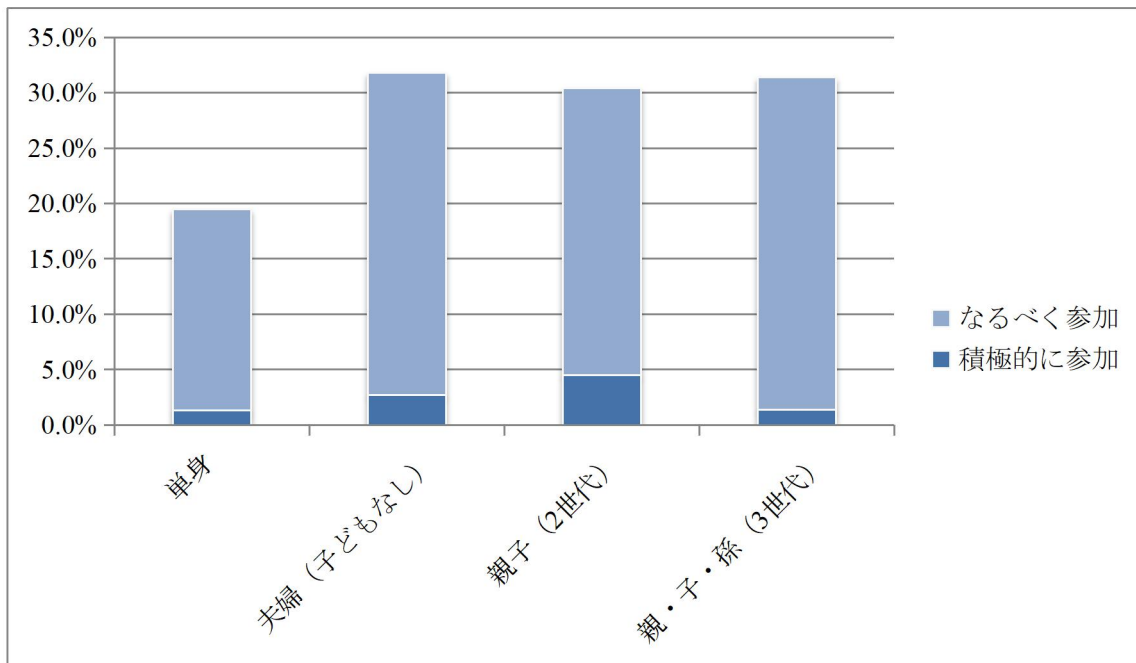
- ・積極的に参加している割合は男女同程度であるが、なるべく参加も加えた割合では女性の方が高い。

3. 【世代別 地域活動に参加している方の割合】（市民満足度調査 2017 より）



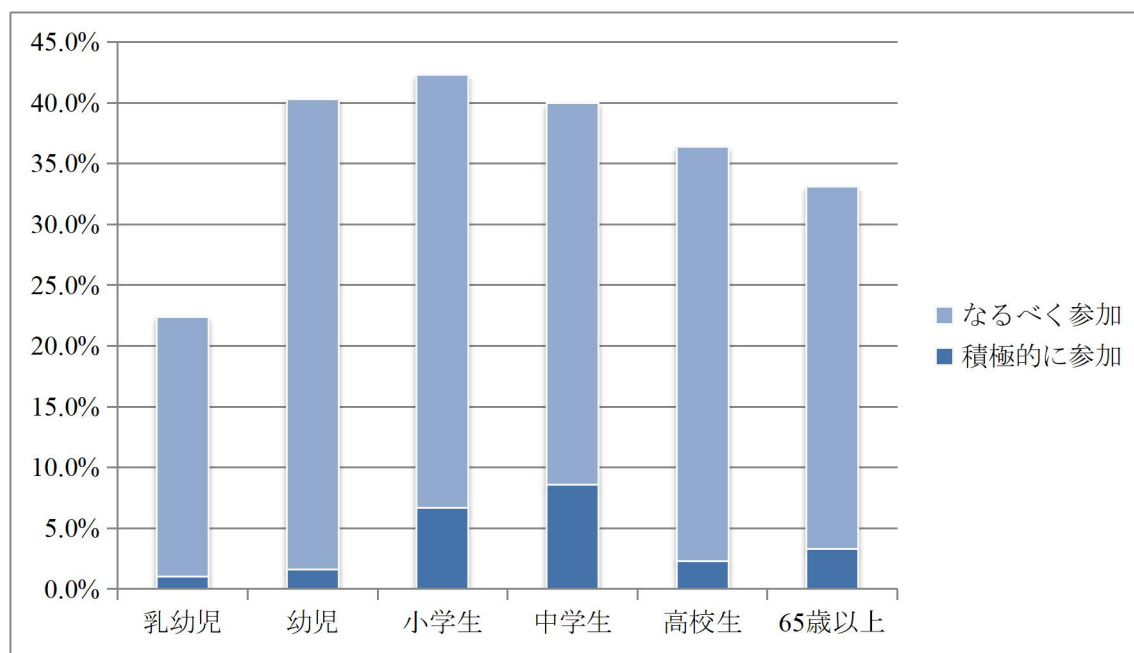
・ 70代は参加している割合が高い。続いて、40代、60代の順となっている。

4. 【家族構成別 地域活動に参加している方の割合】（市民満足度調査 2017 より）



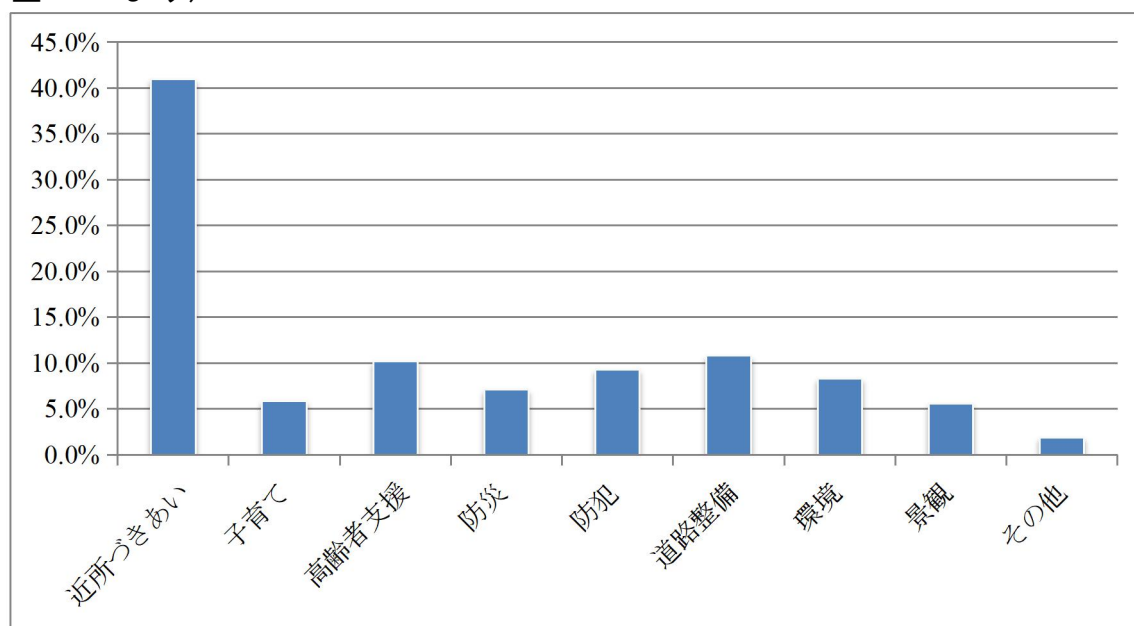
・ 単身者は、参加している割合が低い。

5. 【同居家族の属性別 地域活動に参加している方の割合】（市民満足度調査 2017 より）



- ・小学生が同居している世帯は参加する割合が高い。続いて、幼児、中学生の同居している世帯の順となっている。

6. 【住んでいる地域の課題（困っていることなど）について】（市民満足度調査 2017 より）



- ・近所づきあいに困っている割合が突出して高い。続いて、道路整備、高齢者支援の順となっている。